

Canon

パワープロジェクター LV-7555 LV-7555F

使用説明書



J

日本語版

このたびはキヤノン製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

保証書別添付

保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

本製品は日本国内用に設計されております。電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。
This LCD Projector is designed for use in Japan only
and cannot be used in any other country.

パワープロジェクター LV-7555/7555Fの特徴

1024 x 768 ドットの高解像度液晶パネルの採用により、XGAコンピュータにリアル対応、SXGAにも圧縮対応

ターボブライツシステム搭載

- 300W NSH ランプとターボブライツシステムの採用により高輝度化を実現。

レンズの交換が可能

- 別売オプションレンズとの交換により、ご使用場所に合わせた投写が可能。

電動レンズシフト機能搭載

- ボタン操作でレンズを上下にスライドさせ、画面の位置決めを容易にします。

プログレッシブ スキャン

- プログレッシブ スキャン の採用により、ビデオ映像やHDTV信号をより高画質に投写します。

ファン動作音が気にならない静音と省電力を実現するサイレントモードを搭載。

ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン付き

- プロジェクターおよび接続したコンピュータの両方の操作ができ、さらにプレゼンテーション時に便利なレーザーポインタ機能が付いたワイヤレスリモコンを付属。

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- コンピュータの種類と最適設定を自動で行う「マルチスキャンシステム」と「オート PC アジャスト」機能。
- 見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投写できる「デジタルズーム」機能。(コンピュータ モード時)
- 投写画面の台形歪みをスクエアな画面に補正する「デジタルキーストーン (台形補正)」機能。上下と左右の補正により設置範囲が拡大。
- 音声を一時的に消す「MUTE」機能・画面を一時的に消す「NO SHOW」機能・画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーション タイマー)」機能。
- 「アンプ・スピーカ」内蔵で音響施設のない出先等でもプレゼンテーションが可能。

海外の映像システムにも対応する 6 カラーシステム

- NTSC、NTSC4.43、PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N カラーシステムに対応。

コンポーネント 映像入力端子を装備

- DVD やHDTVなどを高画質で再生。

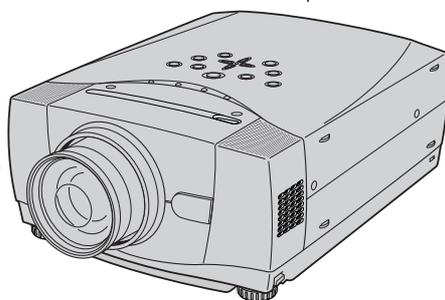
DVI-D (デジタル インターフェイス) 搭載

- デジタル ビジュアル インターフェイス (DVI) の採用により、コンピュータの画像をより鮮明に再生します。

別売の Network Imager (ネットワーク・イメージャー) を装着することによりプロジェクターをネットワーク経由で操作・管理することが可能。

満足の明るさと高精細大画面

- 約236万画素の高精細映像で、XGAコンピュータ画面をリアル投写。
- 300W NSHランプとターボブライツシステムの採用により、高輝度化を実現。
- 31~400型の大画面。



充実のコンピュータ/ビデオ入力端子

- コンピュータ入力に、DVI-D 端子 (デジタル) およびD-sub端子 (アナログ) を装備。
- ビデオ入力端子には、コンポーネント映像、S 映像、コンポジット映像を装備。
- その他に、USB端子、コントロールポート端子、音声入出力端子を装備。



設置調整を容易にする機構設計

- 画像位置の調整を容易にする上下電動レンズシフト機能を搭載
- 持ち運びに便利なキャリングハンドルと傾き調整を容易にする調整脚を装備
- 小型・軽量 9.3 Kg (LV-7555)

ワイヤレス・ワイヤード兼用リモコン

- プロジェクターおよびプロジェクターに接続したコンピュータの遠隔操作が可能
- プロジェクターに接続したコンピュータのマウス操作が可能。
- プレゼンテーション時に便利なレーザーポインタ機能とP-TIMER (プレゼンテーションタイマー) 機能。

目次

安全上のご注意 4

準備 10

- 付属品を確認してください・・・10
- 本体各部のなまえ・・・11
- 設置のしかた・・・12
- リモコンの準備・・・15
- 電源コードを接続する・・・16

接続 17

- 機器をつなぐ端子・・・17
- コンピュータを接続する・・・18
- ビデオ機器を接続する・・・19

操作の前に 20

- リモコンのボタン・・・20
- 本体操作パネルのボタン・・・22
- オンスクリーンメニューの操作方法・・・23

基本操作 25

- 電源を入れ画面を投写する・・・25
- 電源を切る・・・26
- 投写画面を調整する・・・27
- 音量を調節する・一時的に消音する・・・29
- 画面を一時的に静止させる・・・30
- 画面を一時的に消す・・・30
- プレゼン時に経過時間を表示する・・・30
- レーザーポインタを使用する・・・31

コンピュータ入力 32

- コンピュータ入力に切り換える・・・32
- コンピュータシステムの選択・・・33
- コンピュータシステムの調整・・・34
- イメージモードの選択・・・37
- 適切な画像サイズに調整する・・・38

ビデオ入力 39

- ビデオ入力に切り換える・・・39
- カラーシステムや走査方式を選択する・・・40
- イメージモードの選択・・・41
- 画面のサイズを選択する・・・42

イメージ調整 43

- マニュアルでイメージ調整を行う・・・43

各種セッティング 46

付録 51

- リモコンでコンピュータを操作する・・・51
- 光源ランプの交換・・・52
- ランプについての安全上のご注意・・・53
- お手入れについて・・・54
- 内部の温度上昇について・・・56
- インジケータ表示とプロジェクターの状態・・・57
- 故障かなと思ったら・・・58
- コンピュータシステムモード一覧・・・59
- メニュー内容一覧・・・61
- 仕様・・・63
- 別売品・・・64
- 端子の仕様・・・65
- レンズ交換について・・・66

保証とアフターサービス 67

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

■絵表示について

この使用説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例



感電注意

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
(左の絵表示は感電注意を意味します。)



分解禁止

⊘の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⊘の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
(左の絵表示は分解禁止を意味します。)



電源プラグを
コンセントから抜け

●の記号は、しなければならない行為を示しています。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。)

警告

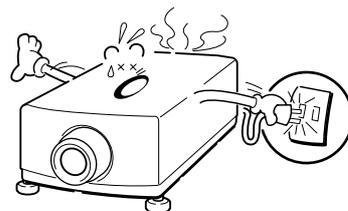
- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



警告



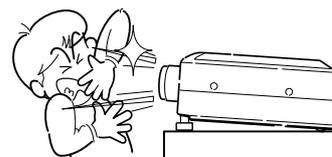
電源プラグを
コンセントから抜け



- 使用中はレンズをのぞかないでください。強い光が出ていますので、目を傷めるおそれがあります。とくに小さなお子様にはご注意ください。



警告



- リモコンのレーザポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。



警告



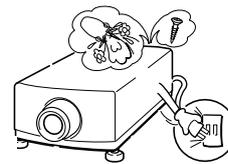
- 万一本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 万一異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 画面が写らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて修理を販売店にご依頼ください。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 万一、本機を倒したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け



- 本機のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



感電注意



⚠ 警告

● 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止



水ぬれ禁止

● 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

● 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室での使用禁止

● 本機に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



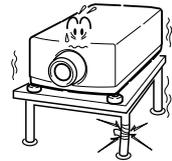
水ぬれ禁止



● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



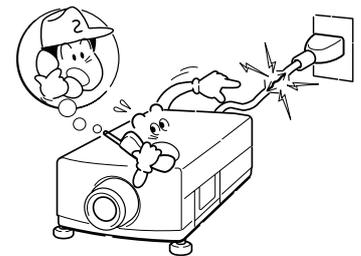
禁止



● 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。またコードを釘などで固定しないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物で覆うと、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



禁止

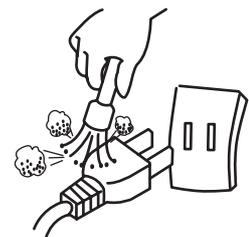


● 電源コードが傷んだら、（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

● コンセント付き延長コードを使う場合は、つなく機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。超えて使用すると発熱し、火災の原因となります。

● 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。それらがたまって湿気を帯びると、火災の原因となります。（結露するところや水槽の近くに特にご注意ください）



警告

- ご使用中は吸気口・排気口の中のファンが回転しています。これらの穴から物などを差し込まないでください。事故や故障の原因となります。特にお子様にはご注意ください。



禁止



- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



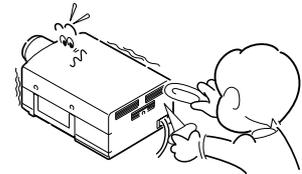
接触禁止



- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。とくにお子様にはご注意ください。
- 本機や付属の接続コードの接点部に金属類を差し込まないでください。火災・けがの原因となります。



禁止



- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



禁止

- 本機は接地端子の付いた 3ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を設置してください。(詳しくは、16ページをご覧ください。)



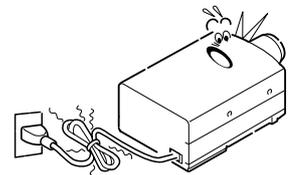
アース線を接続する

注意

- 電源コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となる可能性があります。
- 電源コードや接続ケーブルを床の上にはわせないでください。足を引っ掛けて転倒して、けがの原因となることがあります。



禁止



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止



⚠ 注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



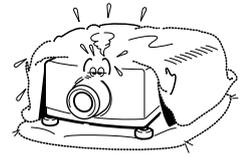
禁止



- 内部の温度上昇を防ぐため、冷却用のファンを内蔵しています。ご使用の時は、ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止



設置のときは、ファンの排気口を壁から 1メートル以上空けてください。

空調設備の排気ダクト付近などに設置しないでください。

次のような使い方はしないでください。

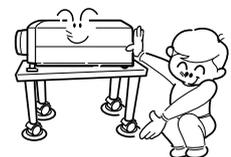
- * 横倒しなど、指定以外の方向に、設置しないでください。
- * 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭いところに押し込む。
- * じゅうたんや布団の上に置く。
- * テーブルクロスなどを掛ける。

また、壁など、周囲のものから 1メートル以上はなし、風通しをよくしてください。

- キャスター付き台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



注意



- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。



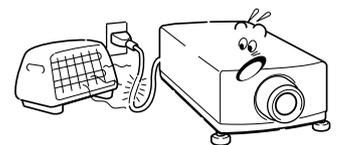
禁止



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて火災・感電の原因となることがあります。



禁止



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



禁止



⚠ 注意

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



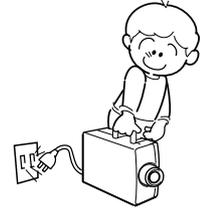
ぬれ手禁止



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなどを外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け



- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



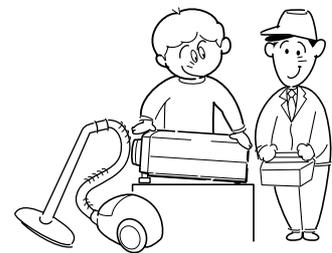
電源プラグを
コンセントから抜け



- 長年のご使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。



注意



正しくお使いいただくために

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。持ち運ぶとき、レンズの保護のためにレンズキャップをはめ、専用のケースに納めて運んでください。車両・航空機などを利用して持ち運んだり、輸送したりする場合は、輸送用の専用ケースをご使用ください。輸送用の専用ケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

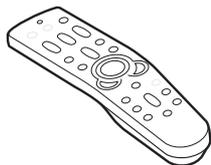
● 電波障害自主規制について ●

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

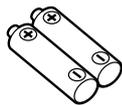
付属品を確認してください

プロジェクター本体のほかに、以下の付属品がそろっているかお確かめください。

1 リモコン



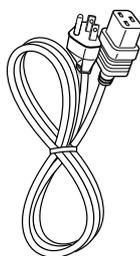
2 リモコン用アルカリ乾電池
(単三型2本)



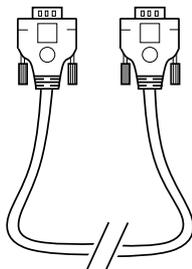
3 リモコン接続コード



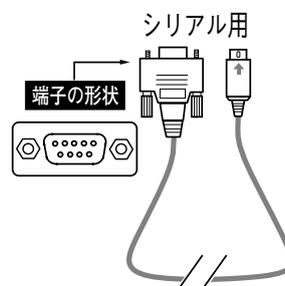
4 電源コード



5 コンピュータ接続ケーブル
(ミニD-sub15ピン)



6 マウスコントロールケーブル



7 USBケーブル



8 レンズキャップ
(LV-7555のみ)



9 ダストカバー



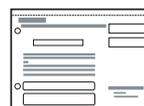
10 使用説明書 (本書)



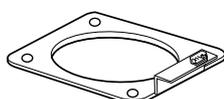
11 レンズ交換・
取付作業手順書



12 保証書



13 レンズ取付金具
(LV-7555Fのみ)



本体各部のなまえ

スピーカー

レンズ

レンズキャップ
本機をお使いにならないときはホコリやキズからレンズを守るためレンズキャップをはめてください。
レンズキャップを外すときは、レンズキャップの両端を持って手前に引いて外します。

調整脚
脚を回して画面の高さと左右の傾きを調整します。

操作パネル
ご使用中、天面は熱くなります。上に物を置いたりしないでください。変形や火災の原因となります。
ボタンの名称とはたらきは22ページをごらんください。

吸気口
内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

リモコン受信部-1
リモコン受信部は後面にもあります。

警告 ランプ点灯中はレンズキャップをかみはず外してください。レンズキャップを付けたまま点灯すると、レンズキャップの変形および火災の原因となります。

排気口
内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

ランプカバー

電源コード接続ソケット
電源コードを接続します。

後面端子
端子の名称とはたらきは17ページをごらんください。

リモコン受信部-2
リモコン受信部は前面にもあります。

吸気口
内部に冷却ファンがあります。ここをふさがないでください。

キャリングハンドル

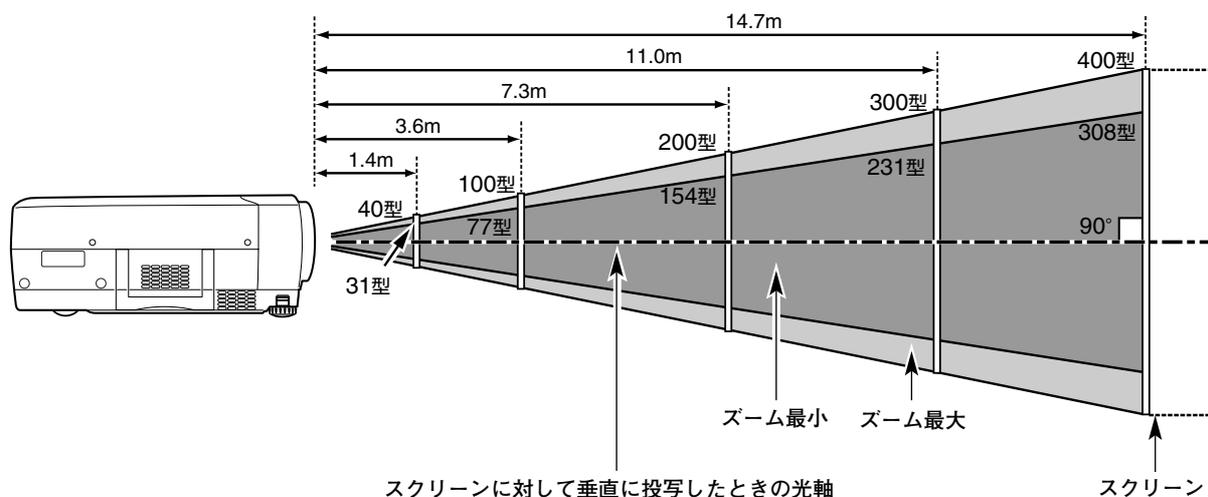
Network Imager 取付部
プロジェクターに別売の Network Imager を取り付けるとき、この部品を外して取り付けます。詳しくは別売の Network Imager の使用説明書を参照ください。

設置のしかた

スクリーンからのおよその距離と画面サイズの関係 (LV-7555)

※LV-7555Fはレンズが別売となっており、プロジェクター本体にレンズは付いておりません。

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまでの距離を約 1.4m~14.7m の範囲に設置してください。



画面サイズ (幅 x 高さ : mm)	40型	60型	100型	150型	200型	300型	400型
投写距離 (ズーム最小)	1.8 m	2.8 m	4.7 m	7.1 m	9.5 m	14.2 m	—
投写距離 (ズーム最大)	1.4 m	2.1 m	3.6 m	5.5 m	7.3 m	11.0 m	14.7 m

※上表は 4 : 3 の画面サイズで、投写画像の内容により画面サイズが異なります。(38、42 ページ参照)

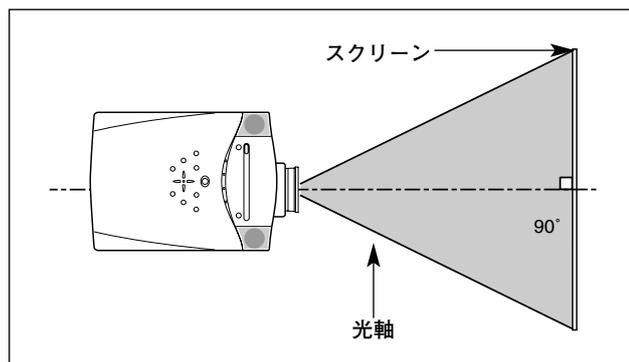
※表の画面サイズは標準的なもので、実際のサイズと異なります。

※スクリーンは太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スクリーンに光が当たると、白っぽく見にくい場合画面になります。明るい部屋では、部屋の明るさをやや落として下さい。

※レンズシフトと調整脚の調整位置により、投写画面の上下の位置は変わります。(13、27、28 ページ参照)

スクリーンに対して直角に設置する

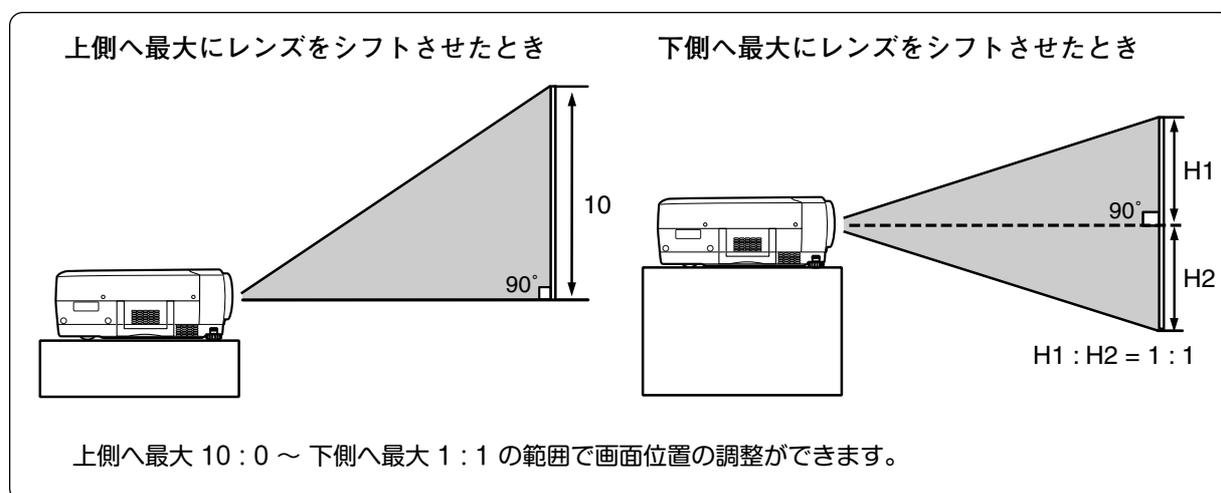
投写したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。



上から見た図

レンズシフト機能で画面の位置を合わせる

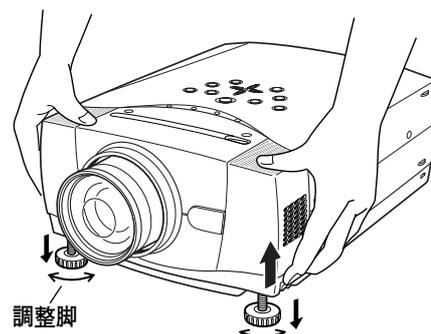
本機にはレンズシフト機能が付いており、ボタン操作でレンズを上下にスライドさせ、画面位置を上下に移動させることができます。操作のしかたについては、27ページをごらんください。



投写画面の高さと傾きを調整する

画面の上下調整は、はじめにレンズシフトで行い、そのあと調整脚で高さの調整を行ってください。調整脚のみで調整を行うと画面に台形のひずみが生じます。

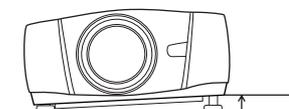
- 1 本体前方を持ち上げてから両側の調整脚ロックを人差し指で引き上げて調整脚を伸ばし、人差し指を離して調整脚をロックします。
- 2 本体前方の2つの調整脚をまわして投写画面の高さと傾きを微調整します。最大約10.5度まで上がります。



- 投写したときの光軸の水平方向の傾きは ±10度以内に ●
- スクリーンに対して光軸の水平方向の傾きが ±10度以内になるように投写してください。光軸の水平方向の傾きが大きいと、光源ランプの寿命に悪い影響を与えます。



注意

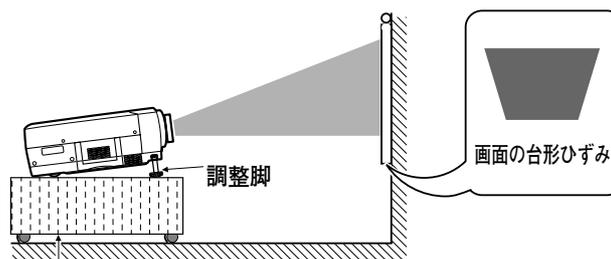


水平の傾きは最大約 10° まで

- 画面の台形ひずみ (あおり) ●

調整脚を上げると、投写角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形にひずみます。ひずみが大きい場合は、設置台の高さなどを調整してください。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。(28ページ参照)



設置台

※ 画面のひずみが大きいときは、設置台を高くして調整してください。

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

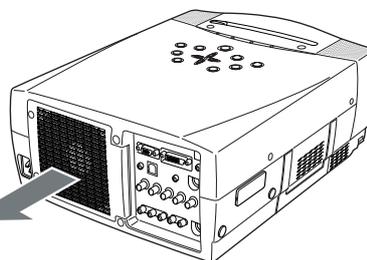
排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。

- ・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となります。
- ・観葉植物やペットを置かないでください。
- ・熱で変型したり、悪影響を受けるものを置かないでください。
- ・排気口付近には視聴席を設けないでください。



注意

排気口



熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。手で触れたりしないでください。やけどの原因になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲

5°C~35°C

保管温度範囲

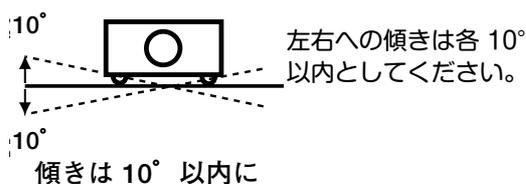
-10°C~60°C

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が写るまでお待ちください。

正しい方向に設置してください

プロジェクターを正しい方向に設置ください。指定外の方向に設置すると、故障や事故の原因となります。



横置き禁止

横に立てて設置して投写しないでください。



上向き禁止

上向きに設置して投写しないでください。



下向き禁止

下向きに設置して投写しないでください。

● ご注意・著作権について ●

この液晶プロジェクターを使用して、喫茶店・ホテル等において、

- ・著作権者に無断で、著作物のある映像を公衆に視聴させる場合。
- ・著作権者に無断で、著作物のある映像を画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行う場合。

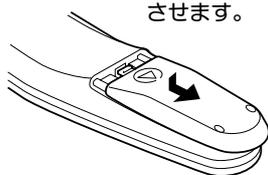
以上は著作権法で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

リモコンの準備

電池の入れかた

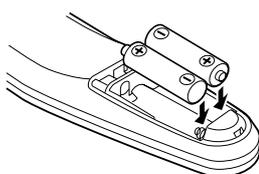
1 電池カバーを開けます。

押しながら
下にスライド
させます。



2 電池を入れます。

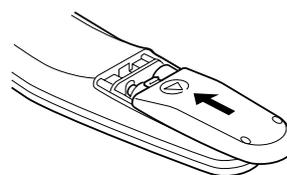
付属の乾電池を＋プラス、
－マイナスに注意して入れます。



使用乾電池
単3型アルカリ乾電池2本

3 電池カバーを閉めます。

上にスライド
させます。



● 電池を使用するときのご注意 ●

電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんで注意ください。

- ・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・＋極と－極の向きを正しく入れる。＋極と－極をショートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池製造者の指示に従って廃棄する。



注意



禁止

また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。

- ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
- ・液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい乾電池を入れる。

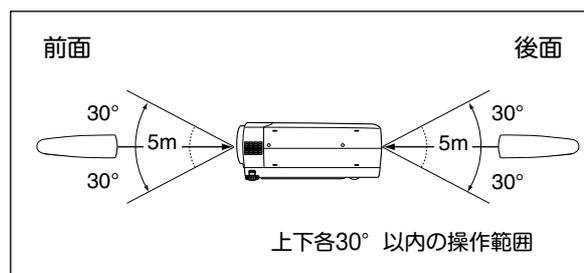
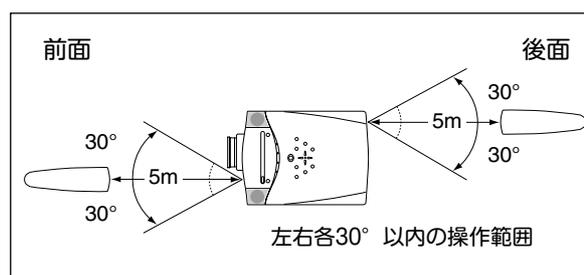
リモコンで操作できる範囲

ワイヤレスリモコンとして使用する場合、リモコンで離れて操作できる範囲は、本体前面と後面のリモコン受信部から約 5m 以内、上下左右 30° 以内です。

※間に障害物があると操作の妨げになります。

● リモコンを使用するときのご注意 ●

- ・本体のリモコン受信部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにする。
- ・液状のものをかけない。
- ・落としたり衝撃を与えない。
- ・熱や湿気をさける。



警告

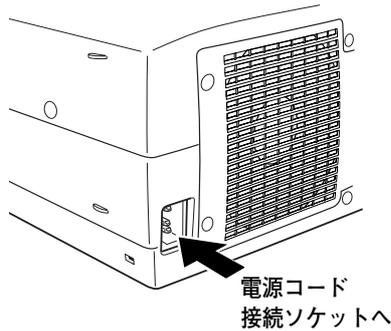
リモコンのレーザポイントの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER-KLASSE 2
レーザ放射クラス2レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力): 1mW
WAVE LENGTH (波長): 650±20nm

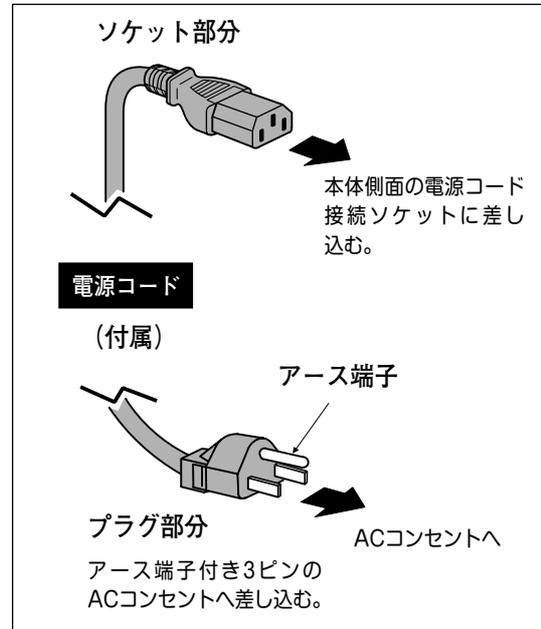
電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、17～19ページを参照してコンピュータやビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードのソケット部分を本体側面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



- 2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き 3ピンの ACコンセントに差し込みます。



● アース端子を接地してください ●

機器を安全にご使用いただくために、電源プラグのアース端子の接地を行ってください。また、アース端子の接地はコンピュータ使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビやラジオに受信障害をおよぼす原因となることがあります。

機器をつなぐ端子

本機の後面にはコンピュータやビデオ機器を接続するための入出力端子を装備しています。機器をつなぐときは、17～19ページを参照して正しく接続してください。

音声入出力端子 1

投写中のコンピュータまたはビデオ機器からの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。または、外部のオーディオ機器へ出力する端子として切り替えて使用することができます。（18、19、32 ページ参照）

USB 端子

コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行うときに、この端子とコンピュータのUSB端子を付属のUSBケーブルでつなぎます。（49、51 ページ参照）

RGB アナログ入出力端子

コンピュータからのアナログ（RGB）出力と接続します。または、コンピュータモニター出力として切り替えて使用することができます。接続には付属のDOS/V用コンピュータ接続ケーブルを使用します。（18、65 ページ参照）

RGB デジタル入力端子

DVI規格対応の端子を持つコンピュータからのデジタル（TMDS）出力と接続します。接続には別売のDVI用コンピュータ接続ケーブルを使用します。（18、32、65 ページ参照）

リモートコントロール端子

この端子とリモコンのワイヤードリモコン端子を付属の接続コードでつなぐと、リモコンがワイヤードリモコンとなり、リモコンの向きに関係なくプロジェクターの操作ができます。（21 ページ参照）

リセットボタン

本機の制御は内蔵のマイクロコンピュータによって行われていますが、まれにマイクロコンピュータの誤動作により、本機が正しく操作できないことがあります。そのような場合、リセットボタンを先の細い棒等で押して本機の再起動を行ってください。それ以外の場合は、リセットボタンを押さないでください。

コントロールポート端子

コンピュータのマウス操作をプロジェクターのリモコンで行うときに、この端子とコンピュータのマウスポート端子を付属のマウスコントロールケーブルでつなぎます。（18、51、65 ページ参照）

ビデオ入力端子

ビデオ機器からの映像出力と接続します。コンポジット映像出力はVIDEO/Yへ、コンポーネント映像出力はVIDEO/Y、Cb/Pb、Cr/Prへ接続します。（19 ページ参照）

S 映像入力端子

ビデオ機器からの S映像出力をこの端子に接続します。（19 ページ参照）

音声入力端子 2

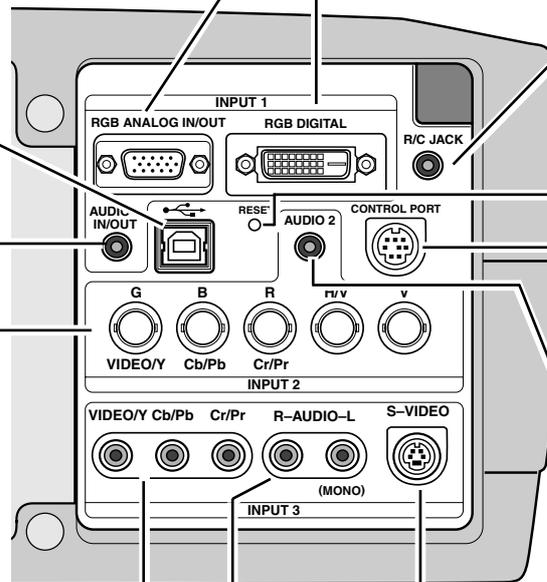
投写中のコンピュータまたはビデオ機器からの音声出力（ステレオ）をこの端子に接続します。（18 ページ参照）

ビデオ入力端子および コンピュータ アナログ入力端子

DVDプレーヤーやHDTVなどからのコンポーネント映像出力〔Y、Pb、Pr〕、または、コンピュータからのアナログ（RGB）出力を接続します。（18、19 ページ参照）

音声入力端子 3

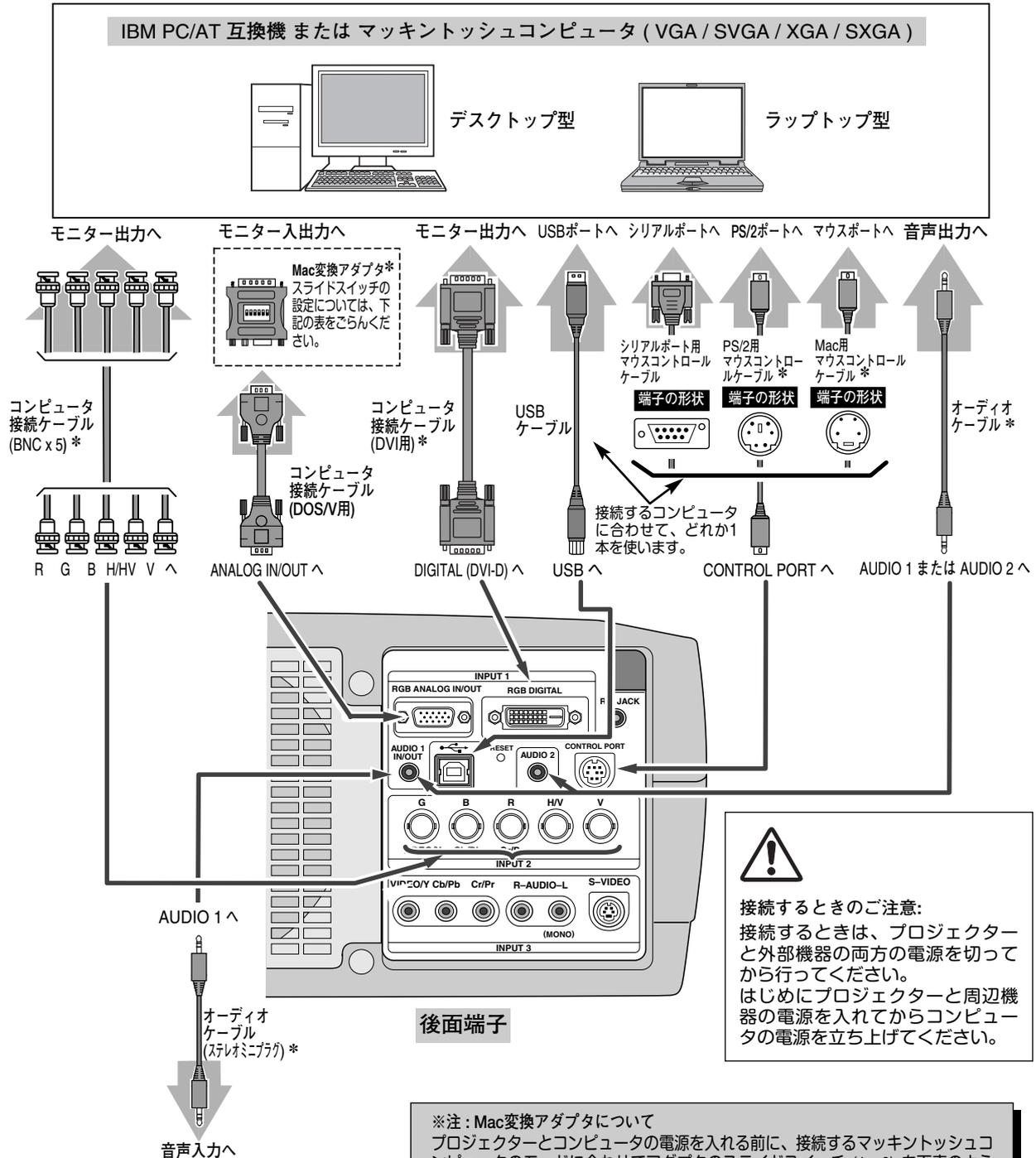
ビデオ機器からの音声出力をこの端子に接続します。モノラルの音声は「L (MONO)」端子へ接続してください。（19 ページ参照）



コンピュータを接続する (例)

接続に使用するケーブル (* = 市販または別売のケーブルをお使いください。)

- コンピュータ接続ケーブル (DOS/V用、DVI用 *または BNC x 5 *)
- マウスコントロールケーブル: (シリアルポート用、PS/2用*、Mac用 *)
- USBケーブル
- Macアダプタ (マッキントッシュコンピュータ接続時) *
- オーディオケーブル (ステレオミニプラグ *)



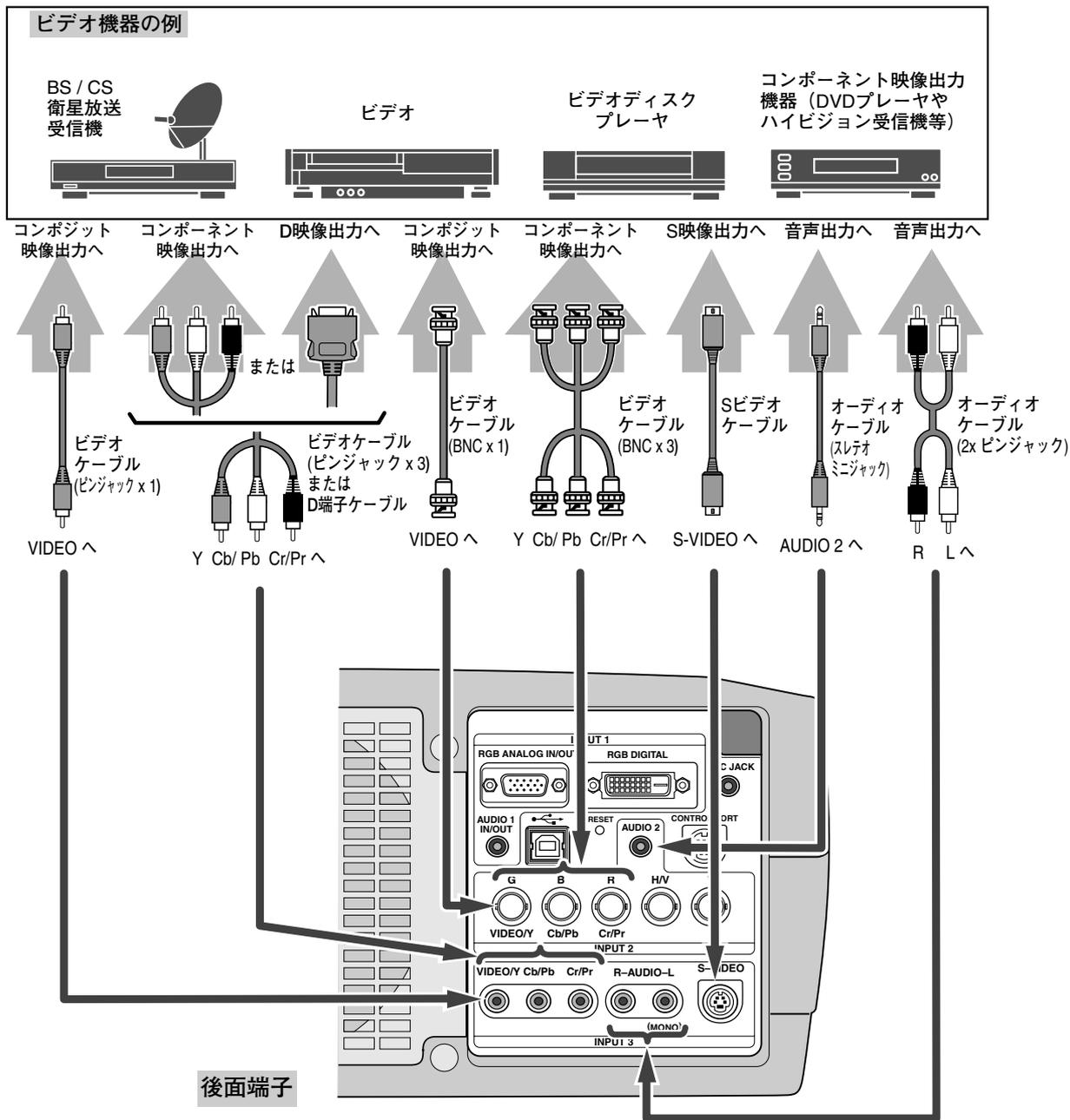
ビデオ機器を接続する (例)

接続に使用するケーブル (市販のケーブルをお使いください。)

- ビデオ ケーブル
(1x ピンジャック、3 x ピンジャック、BNC x 1、BNC x 3)
- Sビデオ ケーブル (ミニDIN 4ピン) •D端子 ケーブル
- オーディオ ケーブル (2 x ピンジャック)
- オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ)



接続するときのご注意:
接続するときは、プロジェクター
と外部機器の両方の電源を切っ
てから行ってください。



操作の前に

リモコンのボタン

付属のマウスコントロールケーブルでコンピュータとプロジェクターを接続するとコンピュータのマウスとしてご使用いただけます。ご使用前にリモコン左側面のスイッチを ON にします。使用後は OFF にしてください。

左側面

オール オフ
ALL OFF スイッチ

リモコンを長時間使用しないときは、「ALL OFF」側にしてください。

POWER ボタン
電源を入り・切りします。(25、26ページ参照)

VOLUME ボタン
音量を調整します。(29ページ参照)

INPUT ボタン
インプット (入力) 1・2・3 を切り換えます。

BRIGHT ボタン
「Bright On」 / 「Bright Off」 (画面表示) を切り換えます。「Bright On」にするとBRIGHTインジケータが点灯し、画面が明るくなります。(31ページ参照)

FREEZE ボタン
画面を一時的に静止させます。(30ページ参照)

IMAGE ボタン
イメージモードを選択します。(37、41ページ参照)

ズーム ZOOM ボタン
ズームを調整します。(27ページ参照)

MUTE ボタン
音声を一時的に消します。(29ページ参照)

MENU ボタン
メニューバーを出します。(24ページ参照)

KEYSTONE ボタン
画面の台形ひずみ (あおり) を補正します。(28ページ参照)

NO SHOW ボタン
画面を一時的に消します。(30ページ参照)

AUTO PC ADJ. ボタン
オートピーシーアジャスト
トラッキング・総ドット数・画面位置を自動調整します。(34ページ参照)

● リモコンの持ち方 ●

リモコンは図のように持つと便利に操作できます。

警告

リモコンのレーザーポインタの発光部をのぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使用せたりしないでください。

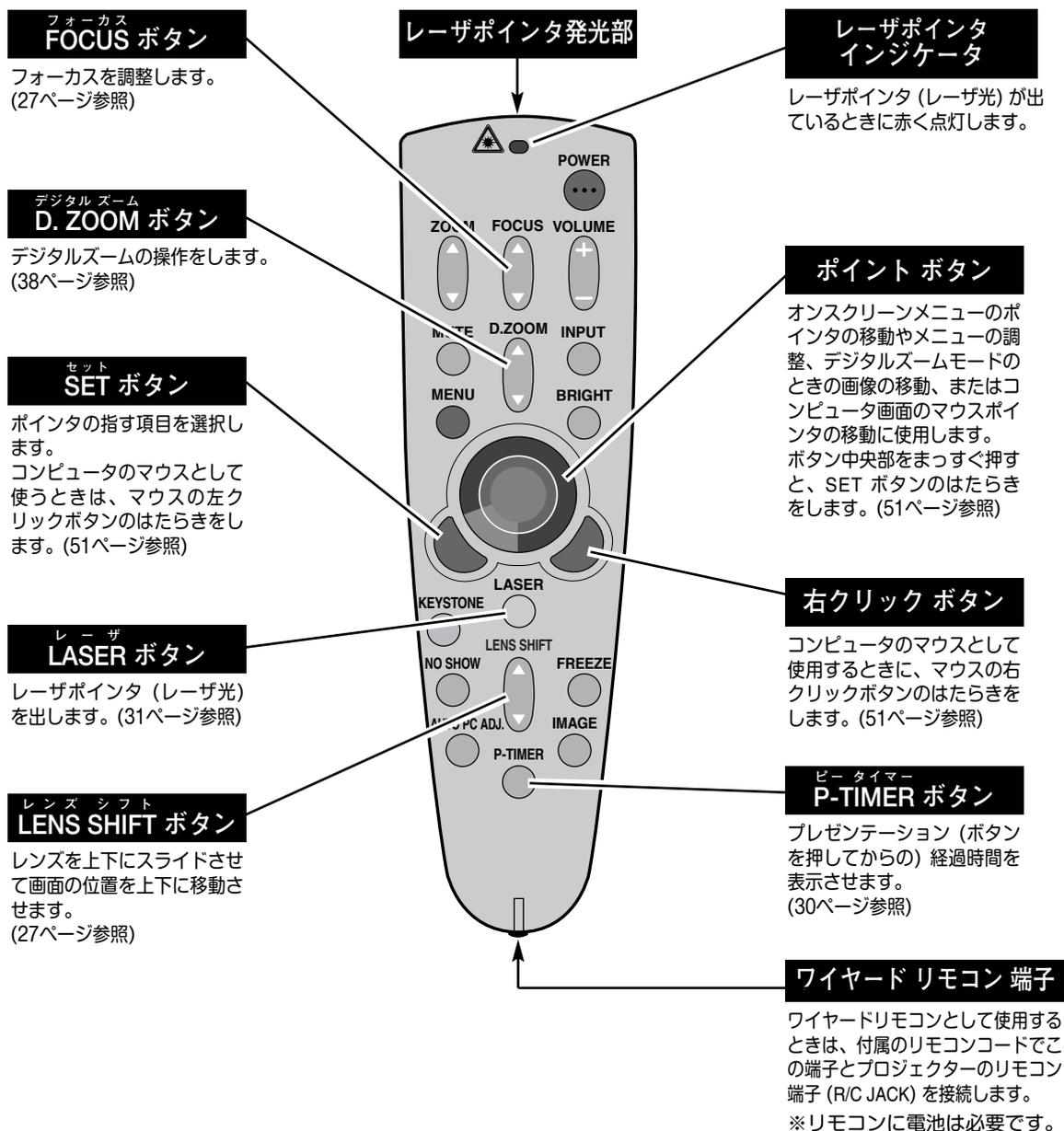
LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER-KLASSE 2
レーザー放射クラス2レーザー製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力): 1mW
WAVE LENGTH (波長): 650±20nm

親指でマウスポインタの上・下・左・右、左クリック ボタン、右クリックボタンを押します。

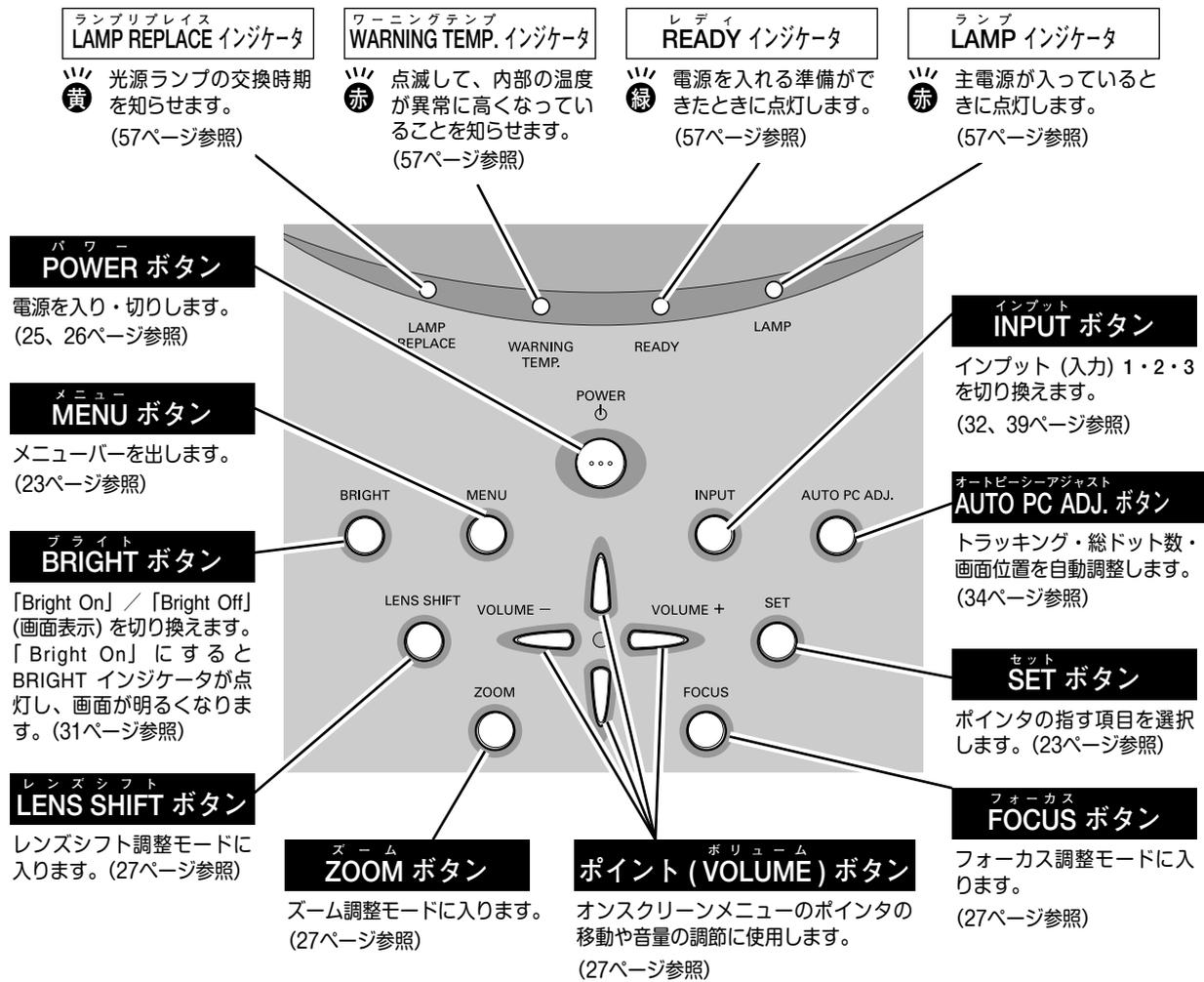
レーザーポインタ
インジケータ

レーザーポインタ
発光部





本体操作パネルのボタン



オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

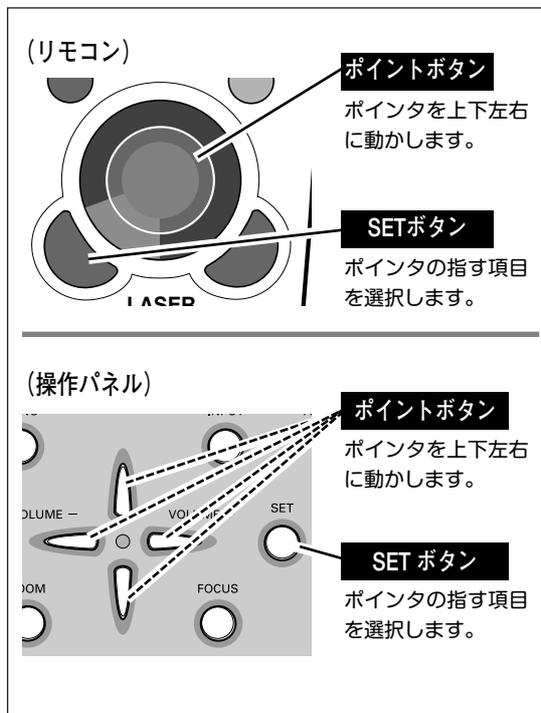
オンスクリーンメニュー(画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポインタの指す項目を選択するのが基本です。

①ポインタの動かしかた

ポインタは、ポイントボタンで上下左右に動かします。ポイントボタンはリモコンと操作パネルにあります。

②項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコンを選択するには、SETボタンを押します。SETボタンはリモコンと操作パネルにあります。



操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

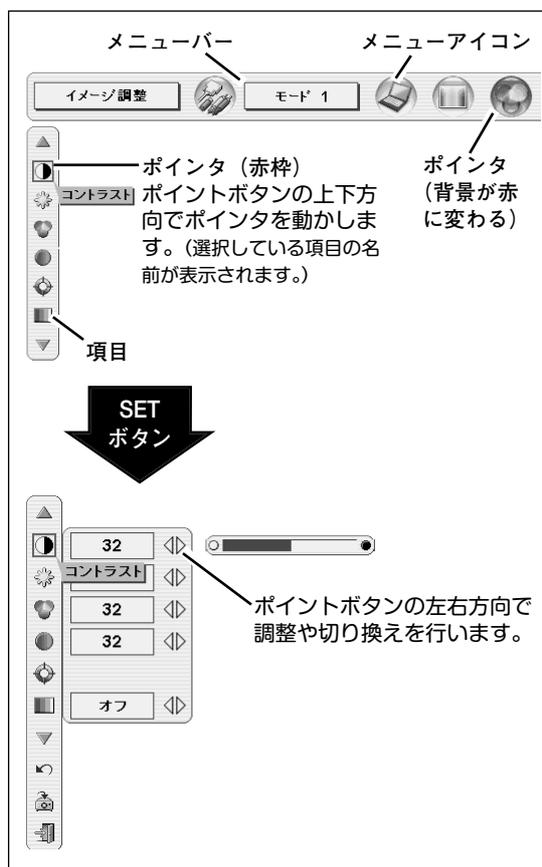
- MENU ボタンを押すと、画面上にメニューバーが表示されます。(次ページ参照) メニューバーには選択できるメニューがアイコン(操作をイメージした図)の形で一覧表示されます。
アイコンを囲んでいる赤い枠がポインタです。

メニューを選択する

- ポイントボタンの左右でメニューを選択します。選択されたアイコンは背景が赤に変わります。

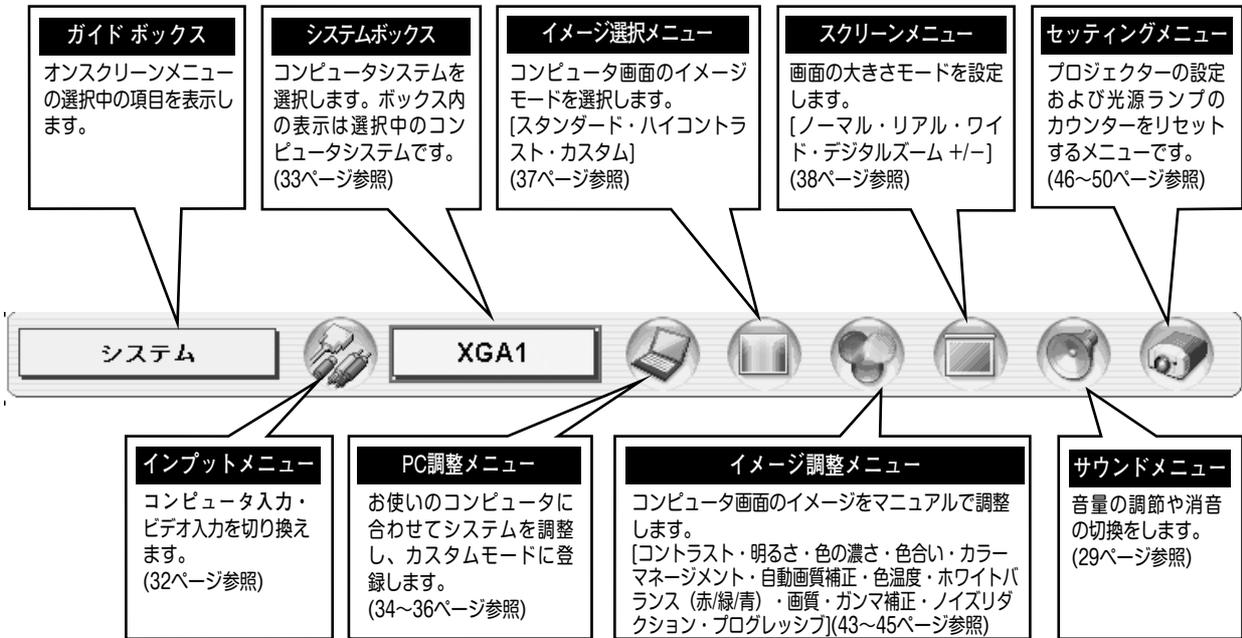
メニュー画面で調整や切り換えを行う

- ポイントボタンの下でポインタをメニュー内に降ろし、調整する項目にポインタを合わせます。
- SET ボタンを押して、調整する項目の設定状態をメニュー画面に出します。
- ポイントボタンの左右で、調整や切り換えを行います。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明項目を参照してください。



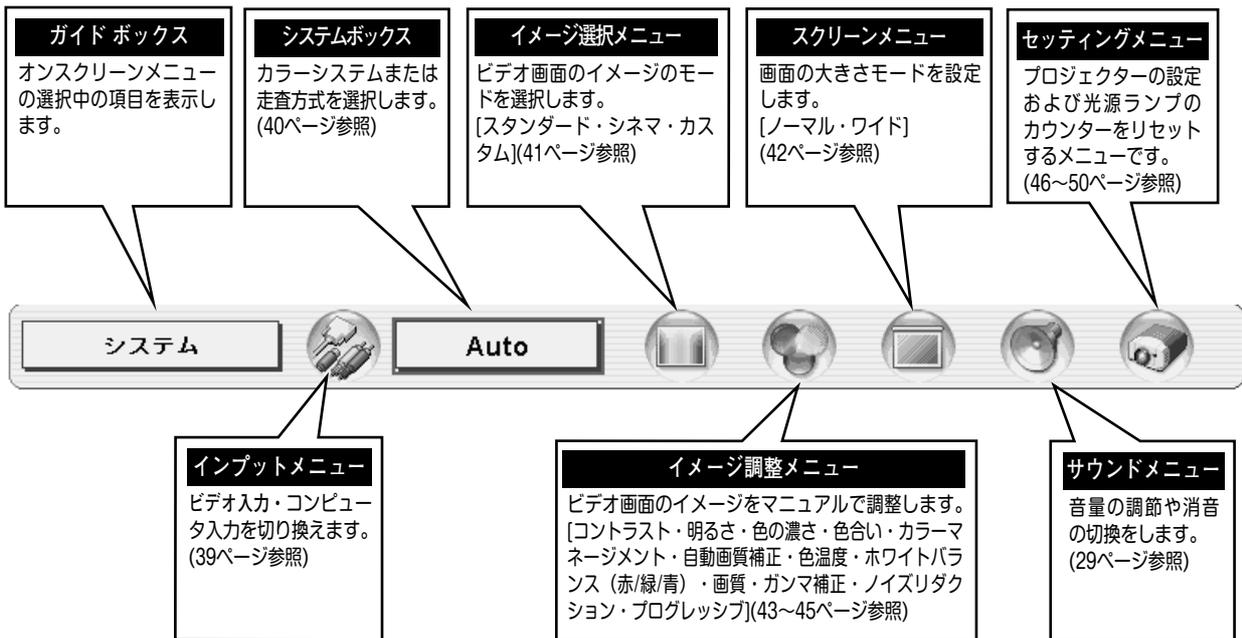
メニューバー

コンピュータ画面のメニューバー



コンピュータ画面

ビデオ画面のメニューバー



ビデオ画面

電源を入れ画面を投写する

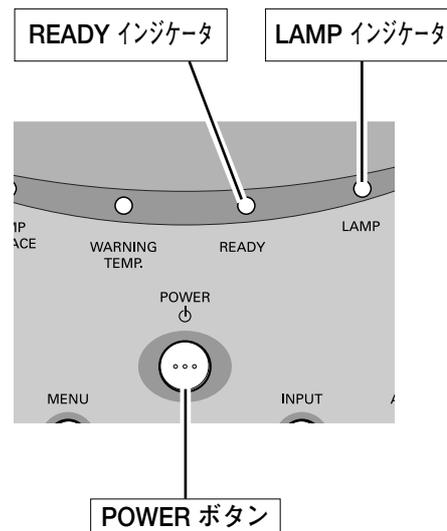
電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、17～19ページを参照してコンピュータ、ビデオ機器を接続してください。

- 1 電源コードを AC コンセントに接続します。(16ページ参照)
赤色の LAMP インジケータと緑色の READY インジケータが点灯します。
- 2 リモコンまたは操作パネルの POWER ボタンを押して電源を入れます。
LAMP インジケータが少し暗めの点灯にかわります。
約30秒間のオープニング画面が終わると画像が写せます。



入力モードとランプモードの表示



- ※オープニング画面が終わると画面の左上に入力モードとランプ表示(ランプの点灯状況を示すランプモード表示) が約5秒間出ます。
ランプモードの詳細は46ページをごらんください。
- ※LAMP インジケータ以外のランプが点灯し、電源が入らないときは、57ページの「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で動作を確認ください。
- ※設定メニューで「オンスクリーン表示 オフ」に設定しているときはオープニング画面は出ません。(47ページ参照)

● 電源を切った後、約90秒間は電源が入りません ●

電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間は POWER ボタンを押しても電源は入りません。この間は電源コードを抜かないでください。90秒経ち、緑色の READY インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。

● ご使用にならないときは電源コードを抜いてください ●

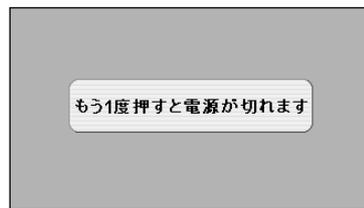
本機は、操作パネルやリモコンの POWER ボタンで電源を切っても、約15Wの電力が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源コードのプラグをACコンセントから抜いてください。



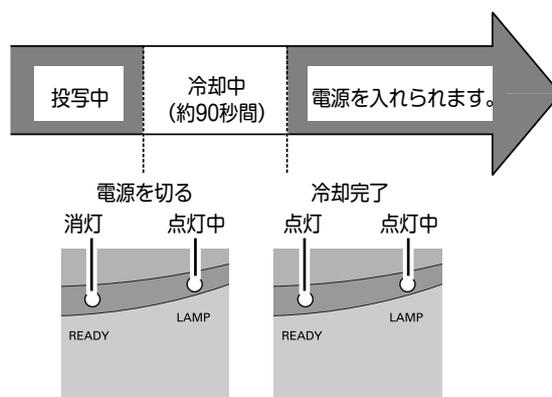
注意

電源を切る

- 1 リモコンまたは操作パネルの POWER ボタンを押すと、画面に「もう一度押すと電源が消えます」の表示が出ます。
- 2 表示が出ている間に再度 POWER ボタンを押すと画面と音が消え、電源が切れます。
電源が切れると緑色の READY インジケータが消え、赤色の LAMP インジケータが明るく点灯します。
- 3 電源を切った後、約90秒間は、次の点灯に備え、高温になった光源ランプを冷却しています。この間はPOWER ボタンを押しても電源は入りません。またこの間は電源コードを抜かないでください。約90秒経ち、緑色の READY インジケータが点灯すれば電源を入れることができます。



※表示は約4秒間出ます。



● 光源ランプを長持ちさせるために ●

光源のランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源プラグを抜くときは、POWER ボタンで電源を切り、約90秒経過後、緑色の READY インジケータが点灯してから行ってください。電源が入った状態からいきなり電源プラグを抜くと、ランプや回路に悪影響を与えます。

● 冷却ファンについて ●

電源が入っている間、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、故障ではありません。

プロジェクターを 24時間以上連続して使用しないでください。連続して使用する場合 24時間に 1 度電源を切り、1 時間休ませてください。続けて使用すると、ランプの寿命を縮める原因となります。

パワーマネージメント機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメント機能が搭載されています。30 秒以上信号が入力されず、またプロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウンを始めます。信号が入力されず、また操作されずカウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。

工場出荷時、タイマーは 5 分に設定されています。(48ページ参照)

パワーマネージメントの動作について

設定が「待機」の時

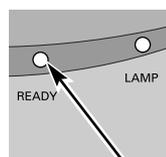
- 1) タイマーのカウントダウンが完了するとランプが消灯し、ランプ冷却動作に入ります。ランプ冷却中は READY インジケータが点灯し、プロジェクターの操作は出来ません。
- 2) ランプの冷却が完了すると READY インジケータが点滅を始め、パワーマネージメントモードになっていることを知らせます。この状態の時に、信号が入力されたりプロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投写されます。

設定が「シャットダウン」の時

- 1) タイマーのカウントダウンが完了すると ランプが消灯し、ランプ冷却動作に入ります。ランプ冷却中は READY インジケータが消灯し、プロジェクターの操作は出来ません。
- 2) ランプの冷却が完了すると、電源が切れます。



タイマー表示



パワーマネージメントモードになると、READYインジケータが点滅を始めます。

投写画面を調整する

画面の大きさを決める (ZOOM)

リモコンで操作するとき

ZOOM ボタン 上・・・画面が大きくなります。
ZOOM ボタン 下・・・画面が小さくなります。

操作パネルで操作するとき

- 1 操作パネルの ZOOM ボタンを押します。
画面に「ズーム」表示が現れます。
- 2 表示が出ている間にポイントボタンの上下で、画面の大きさを調整します。
ポイント ボタン 上・・・画面が大きくなります。
ポイント ボタン 下・・・画面が小さくなります。



※表示は約4秒間出ます。

フォーカスを合わせる (FOCUS)

リモコンで操作するとき

リモコンの FOCUS ボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に写るように焦点を合わせます。

操作パネルで操作するとき

- 1 操作パネルの FOCUS ボタンを押します。
画面に「フォーカス」表示が現れます。
- 2 表示が出ている間にポイントボタンの上下で、画像がもっとも鮮明に写るように焦点を合わせます。



※表示は約4秒間出ます。

レンズシフト機能で画面の位置を上下に動かす (LENS SHIFT)

リモコンまたは操作パネルで操作するとき

- 1 リモコンの LENS ボタン上下、または操作パネルの LENS SHIFT ボタンを押します。
画面に「レンズシフト」表示が現れます。
- 2 表示が出ている間にリモコンの LENS ボタン上下、または操作パネルのポイントボタンの上下で、画面の位置を上下に動かします。



※表示は約4秒間出ます。

※画面位置を動かしたときは、多少画面が暗くなる場合があります。

キーストーン調整で画面の台形ひずみを補正する (KEYSTONE)

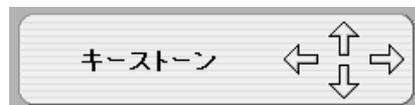
リモコンで操作するとき

リモコンの KEYSTONE ボタンを押します。
「キーストーン」表示が現われます。表示が出ている間に上下左右のポイントボタンで画面の台形ひずみを補正します。

ポイントボタン 上・・・画面上部の幅が縮みます。
ポイントボタン 下・・・画面下部の幅が縮みます。
ポイントボタン 左・・・画面左部の高さが縮みます。
ポイントボタン 右・・・画面右部の高さが縮みます。

※ KEYSTONE ボタンは操作パネルにはありません。

※ 「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度リモコンの KEYSTONE ボタンを押すと、補正前の状態に戻ります。



※ 表示は約10秒間出ます。

※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

※ 補正された方向の矢印は赤く表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。)

※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。

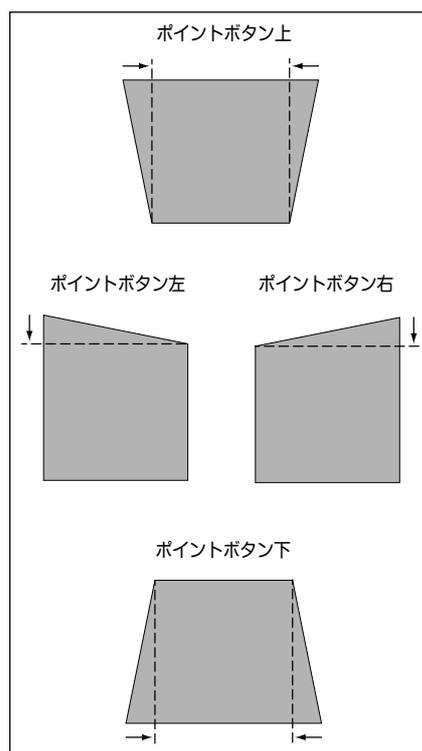
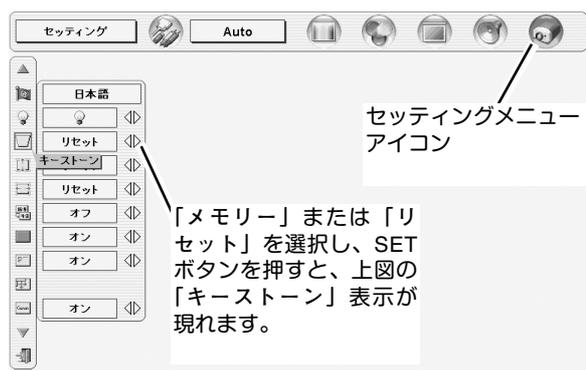
オンスクリーンメニューで操作するとき

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポインタをキーストーンのアイコンに合わせ、SET ボタンで選択します。ポイントボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。(46ページ参照)
もう一度 SET ボタンを押すと、キーストーン調整モードに入ります。画面に「キーストーン」表示が現われます。

3 表示が出ている間に上下左右のポイントボタンで画面の台形ひずみを補正します。

※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して写しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。



音量を調節する・一時的に消音する (MUTE)

ダイレクトボタンで音を調節する

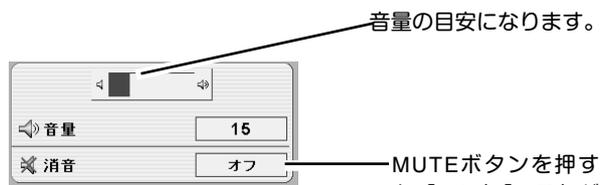
音量調節

リモコンまたは操作パネルの VOLUME ボタン (+/-) で音量を調節します。音量バーを目安にして調節してください。

消音

リモコンの MUTE ボタンを押すと、一時的に音が消えます。もう一度 MUTE ボタンを押すか、VOLUME ボタン (+/-) を押すと解除されます。

※ MUTE ボタンは操作パネルにはありません。



- ※ 表示は約4秒で消えます。
- ※ 「オンスクリーン表示」を「オフ」に設定しているときは画面表示は出ません。

サウンドメニューで音を調節する

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをサウンドメニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポインタをお好みの項目に合わせ、SET ボタンで選択します。

音量調節

ポイントボタン左で音量が小さくなり、ポイントボタン右方向で音量が大きくなります。音量のバーを目安に調節してください。

スピーカ

プロジェクター内蔵のスピーカの調整をします。ポイントボタン右または左で、「オン」「オフ」を切り換えます。

オフ・・・内蔵スピーカから音を出しません。

消音

ポイントボタン右または左で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。「オフ」にすると再び音が出ます。

※ 消音を「オン」にしても「音量」の数値を変更すれば「オフ」になります。

サウンドメニュー



画面を一時的に静止させる (FREEZE)

リモコンの FREEZE ボタンを押すと、再生機器に関係なく投写画面だけが静止します。もう一度 FREEZE ボタンを押すと、解除されます。

※ FREEZE ボタンは操作パネルにはありません。

● こんなときに便利です ●

プレゼンターがコンピュータで次の資料の準備をする間、視聴者には FREEZE ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマートなプレゼンテーションが行えます。

画面を一時的に消す (NO SHOW)

リモコンの NO SHOW ボタンを押すと、「ブランク」表示が出て再生機器に関係なく投写画面を一時的に消すことができます。もう一度 NO SHOW ボタンを押すと、解除されます。

※ NO SHOW ボタンは操作パネルにはありません。



※表示は約4秒間出ます。

● こんなときに便利です ●

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せたくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間を表示する (P-TIMER)

リモコンの P-TIMER ボタンを押すとボタンを押したときからの経過時間をカウントし、画面に表示します。もう一度 P-TIMER ボタンを押すと経過時間のカウントが止まり、それまでの経過時間を画面に表示します。さらに P-TIMER ボタンを押すと解除されます。

※ P-TIMER ボタンは操作パネルにはありません。



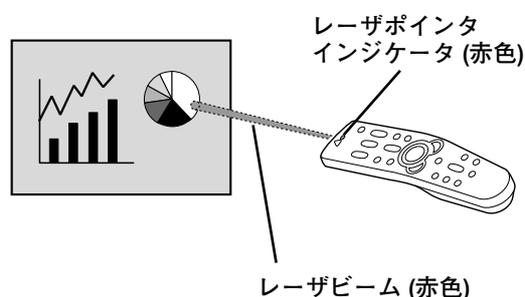
※00分00秒から最長59分59秒まで経過時間を画面表示できます。

● こんなときに便利です ●

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行うことができます。

レーザーポインタを使用する (LASER)

リモコンの LASER ボタンを押している間レーザーポインタインジケータ (赤色) が点灯し、リモコンのレーザーポインタ発光部からレーザービームが出ます。(20、21 ページ参照)
ボタンを押すのを止めると、レーザービームの発光は止まります。



- ※ LASER ボタンは操作パネルにはありません。
- ※ LASER ボタンを押し続けても、1分経つと安全のため自動的にレーザービームの発光が止まります。
- LASER ボタンを押し直すと、レーザービームが再び出ます。

● こんなときに便利です ●

プレゼンテーションで画面の注目してほしい部分を赤いレーザー光で指すことができます。



警告

リモコンのレーザーポインタの発光部のぞき込んだり、人に向けたりしないでください。目を傷める原因になります。また、リモコンを分解したり、お子様に使わせたりしないでください。

LASER RADIATION
DO NOT STARE INTO BEAM
CLASS 2 LASER PRODUCT
LASER-STRAHLUNG
NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN
LASER KLASSE 2
レーザー放射クラス2 レーザ製品
ビームをのぞき込まないこと
IEC60825-1, Am.1 1997
MAX OUTPUT (最大出力) : 1mW
WAVELENGTH (波長) : 650±20nm

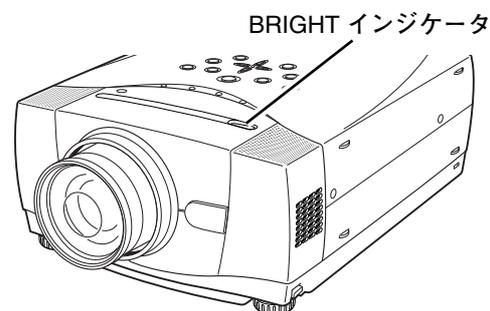


画面を明るくする (Turbo Bright System)

リモコンまたは操作パネルの BRIGHT ボタンを押すと、「Bright On」の画面表示が出て画面が明るくなり、明るい環境での快適なプレゼンテーションが可能です。「Bright On」にすると、本体上面の BRIGHT インジケータ (橙) が点灯します。(右図参照)

もう一度 BRIGHT ボタンを押すと、「Bright Off」の画面表示が出て操作パネルの BRIGHT インジケータ (橙) は消灯し、もとの標準の画面の明るさに戻ります。

- ※ 「Bright On」にすると、画面の色合いが少し変わります。



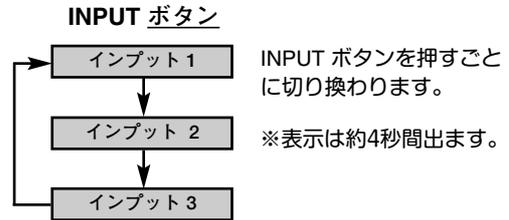
※表示は約4秒間出ます。

コンピュータ入力

コンピュータ入力に切り換える

INPUT ボタンで入力を切り換える

リモコンまたは操作パネルの INPUT ボタンを押して、「インプット 1」または「インプット 2」を選択します。



インプットメニューで入力を切り換える

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをインプットメニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタン下で、コンピュータ信号が入力されている端子（「インプット 1」または「インプット 2」）にポイントを合わせ、SET ボタンを押します。
信号形式選択メニューが現れます。
※「インプット 3」はビデオ入力時に使用します。
- ポイントを希望する信号形式に合わせ、SET ボタンで選んで下さい。

インプットメニュー



インプット 1

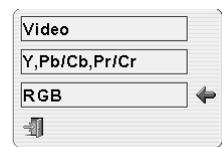
ANALOG IN/OUT (ミニD-sub15ピン) 端子にアナログ信号が入力されている場合は「RGB (アナログ)」を、RGB DIGITAL 端子にデジタル信号が入力されている場合は「RGB (デジタル)」を選択します。

RGB DIGITAL 端子に HDCP技術でコピープロテクトされたハイビジョン信号を接続したときは「RGB (AV HDCP)」を選択します。

RGB (SCART) は、ANALOG IN/OUT (ミニD-sub15ピン) 端子に SCART 21ピン*ビデオ信号が入力されている場合に選択します。
(18ページ参照)

インプット 2

「RGB」を選択します。
(18、32、65ページ参照)



信号形式選択メニュー

ポイントを希望する信号形式へ移動し、SET ボタンを押して選択します。

ANALOG IN/OUT端子をモニター出力として使う

「インプット 1」の中で「モニター出力」を選択します。「INPUT 2」に入力したRGB 信号が出力されます。

また、「AUDIO IN/OUT」端子からは音声信号が出力されます。

※SCART 21ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられているビデオ出力端子で、この端子のRGB出力をプロジェクターで見ると、ビデオ機器のSCART 21ピン端子とプロジェクターのANALOG IN/OUTを専用のケーブルで接続します。ANALOG IN/OUT で再生されるRGB SCART信号は、480i、575iのRGB信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

コンピュータシステムの選択

システムモードが自動選択されます

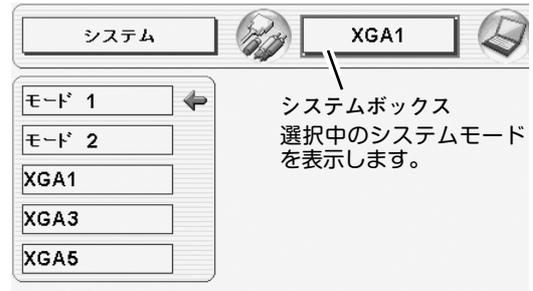
(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、SVGA、XGA、SXGA・・・) を自動で選択しますので、ふだん特別な操作をせずにコンピュータ画面を投写することができます。(34～36 ページ参照)

選択されたシステムモードは、メニューバーのシステムボックスに表示されます。

※ システムボックスに、下記のメッセージが表示されることがあります。

システムメニュー



● システムボックスに表示されるメッセージ ●

Auto

接続されたコンピュータの信号に合ったシステムモードがプロジェクターに用意されていない場合、自動PC調整機能が働き、システムボックスに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投写されないときは、お使いのコンピュータに合わせてマニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。(35、36 ページ参照)

コンピュータの入力信号がありません。接続を確認してください。(17～19 ページ参照)
コンピュータの入力信号がデジタルの場合、以下の表示が出ます。(60 ページ参照)

D-VGA ・ **D-SVGA** ・ **D-XGA**

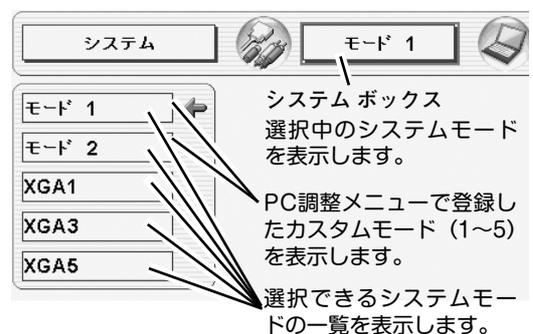
システムモードをマニュアルで選択するとき

カスタムモード*を選択するときなどは、マニュアルでシステムモードを選択してください。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをシステムボックスに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを選択するモードに合わせ、SET ボタンを押します。

※カスタムモード：お使いのコンピュータに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシステムモードです。(35、36ページ参照)

システムメニュー



コンピュータシステムの調整

自動PC調整機能

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」の3項目を自動調整することができます。

自動PC調整

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポインタを「PC調整メニュー」のアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを「自動PC調整」のアイコンに合わせ、SET ボタンを押すとPC調整画面が出ますので、SET ボタンをもう一度押して自動調整してください。
自動PC調整機能は、リモコンまたは操作パネルの AUTO PC ADJ.ボタンではたらかまず。

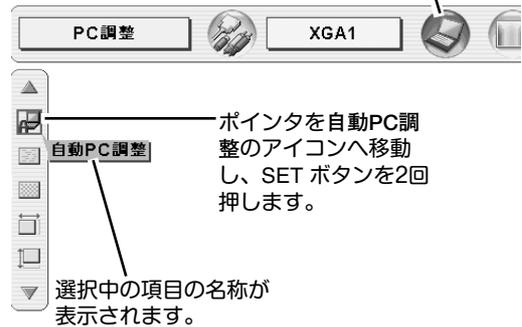
※自動PC調整機能で「トラッキング」「総ドット数」「画面位置」を完全に調整できないコンピュータもあります。その場合は、マニュアルで調整し、カスタムモードに登録してください。(次ページ参照)

自動調整した内容を一度登録しておく、前述のシステムメニューでそのモードを選択できます。登録のしかたについては、36ページのマニュアルPC調整の手順3をごらんください。

※コンピュータからの入力信号がデジタルの場合や、システムメニューで 480p、575p、480i、575i、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、自動PC調整機能ははたらかませません。

PC調整メニュー

PC調整メニュー
アイコン



マニュアルPC調整 (カスタムモードを登録する)

本機は、接続されたコンピュータの信号を判別し、適合するモードを自動選択しますが、コンピュータによっては自動選択できないものもあります。メニューバーのシステムボックスに「Auto」と表示され、画像が正しく投写されないときは、PC調整メニューでマニュアル調整し、カスタムモードに登録してください。登録したカスタムモードは、システムメニューで選択できます。カスタムモードは5つまで登録することができます。

※コンピュータからの入力信号がデジタルの場合は、PC調整メニューは機能しません。

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタン左右でポイントをPC調整メニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポイントを調整する項目のアイコンに合わせ、SET ボタンで選択します。選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右で行います。

※画面領域 H と V は、ポイントボタンで調整後 SET ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

トラッキング

トラッキング (同期) がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。(0から31まで)

※コンピュータによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピュータ情報

現在接続しているコンピュータの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

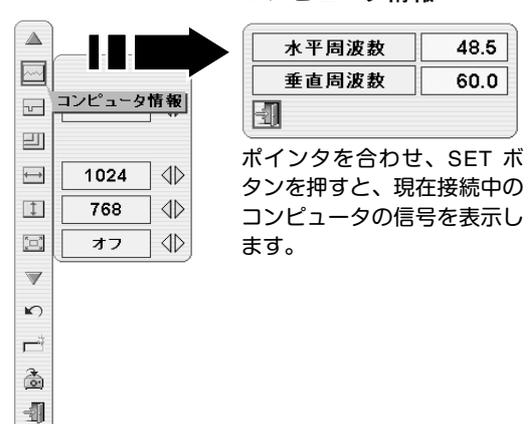
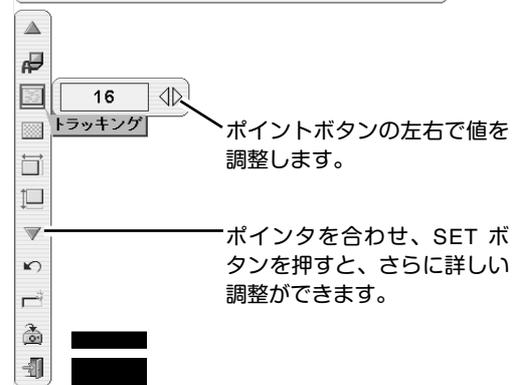
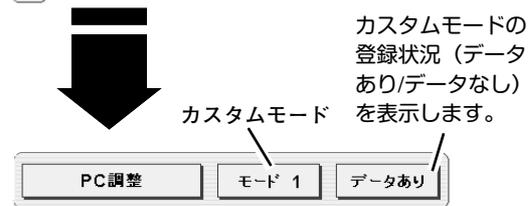
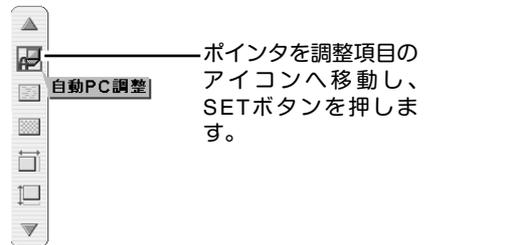
クランプ

クランプ位置を調整します。

画面領域

あらかじめ近い解像度に調整するときに使います。

PC調整メニュー



画面領域 H

水平解像度を調整します。ポイントボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

※画面領域 H は、ポイントボタンで調整後 SET ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

画面領域 V

垂直解像度を調整します。ポイントボタンの左右でコンピュータの垂直解像度に合わせて調整してください。

※画面領域 V は、ポイントボタンで調整後 SET ボタンを押して調整値を決定する必要があります。

フルスクリーン

オン・・・横4：縦3 のフルスクリーンサイズで投写します。

オフ・・・オリジナルの画像の縦横比で投写します。

※システムメニューで480p、575p、480i、575i、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、「トラッキング」「画面領域」「画面領域 H」「画面領域 V」「フルスクリーン」の調整はできません。

※セッティングメニューで「アナモフィック」を「オン」にしているときは「フルスクリーン」の調整はできません。

3 メモリー

ポイントをメモリーアイコンに合わせ、SET ボタンを押すと、PC調整データ登録メニューが現われます。登録したいモード (モード 1 から 5 までのいずれか) にポイントを合わせ、SET ボタンを押します。

データ消去

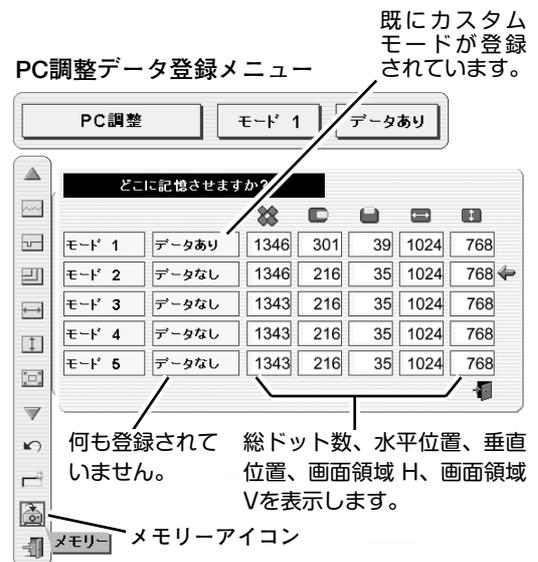
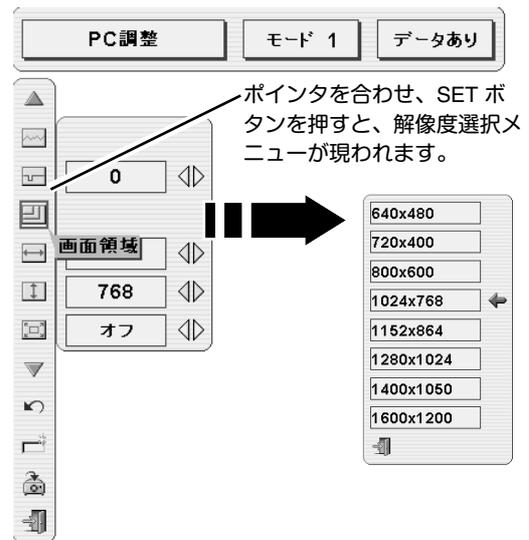
ポイントをデータ消去アイコンに合わせ、SET ボタンを押すと、PC調整データ消去メニューが現われます。消去したいモードにポイントを合わせ、SET ボタンを押します。

リセット

調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。

戻る

メニューを終了します。



PC調整データ消去メニュー



イメージモードの選択

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンの IMAGE ボタンを押すごとに、イメージモードが「スタンダード」「ハイコントラスト」「カスタム」と切り換わります。

スタンダード

このモードは階調や明るさのバランスがとれた標準的な設定です。

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「カラーマネージメント」「自動画質補正」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時の設定になります。

ハイコントラスト

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。

カスタム

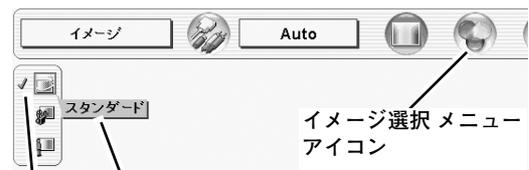
イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(下記参照)



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタをお好みのイメージモードに合わせ、SET ボタンで選びます。

イメージ選択メニュー



ポインタをお好みのイメージモードのアイコンへ移動し、SET ボタンを押します。

選択中のイメージモード



スタンダード

このモードは階調や明るさのバランスがとれた標準的な設定です。

「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「カラーマネージメント」「自動画質補正」「色温度」「ホワイトバランス (赤/緑/青)」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時の設定になります。



ハイコントラスト

このモードは中間調が明るめに補正されるため、明るい場所での見栄えが改善されます。



カスタム

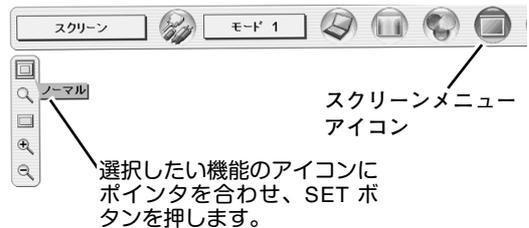
イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。(43~45ページ参照)

適切な画像サイズに調整する

本機の液晶パネルは 1024x768ドットです。お好みにより、画像サイズや水平スケールを変えることができます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、SET ボタンで選択します。

スクリーンメニュー



ノーマル

画像を有効投写画面 (1024x768ドット) の高さに合わせて投写します。

リアル

画像をオリジナルサイズで投写します。画像サイズが有効投写画面 (1024x768ドット) よりも大きいときは、自動的に「デジタルズーム+」モードに入ります。

ワイド

画像を有効投写画面 (1024x768ドット) の幅に合わせ、横16 : 縦 9 のワイド画面で投写します。

デジタルズーム +

「デジタルズーム+」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom +」表示が現われます。
SETボタンを押すごとに画像が拡大します。
ポイントボタンの上下左右で画像を移動させます。
画像の移動機能は、画像サイズが有効投写画面 (1024x768ドット) よりも大きいときのみはたります。
リモコンの D.ZOOM 上 ボタンで画像の拡大ができます。

デジタルズーム -

「デジタルズーム-」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.Zoom -」表示が現われます。
SETボタンを押すごとに画像が縮小します。
リモコンの D.ZOOM 下 ボタンで画像の縮小ができます。

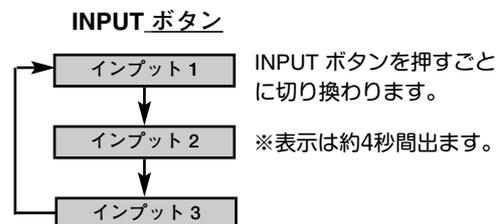
- ※ 「デジタルズーム」モードから抜けるときは、D.ZOOM、SET、ポイント、LASER 以外のボタンを押します。
- ※ システムメニューで 720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) のシステムモードが選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。
- ※ システムメニューで 480p、575p、480i、575i のシステムモードが選択されているときは、「リアル」と「デジタルズーム +/-」は選択できません。
- ※ 本機は SXGA (1280x1024ドット) を超える解像度には対応しておりません。お使いのコンピュータの解像度が SXGA (1280x1024ドット) を超える場合は、プロジェクターに接続する前に低い解像度に再設定してください。
- ※ XGA (1024x768ドット) 以外の画像データは、有効投写画面 (1024x768ドット) に合うように自動的に画像サイズが変換されます。
- ※ PC調整メニューでマニュアル調整したカスタムモードをコンピュータのシステムモードに使用しているときは、「デジタルズーム+」モードのときの画像の移動機能は正しくはたらないことがあります。

ビデオ入力に切り換える

INPUT ボタンで入力を切り換える

リモコンまたは操作パネルの INPUT ボタンを押して、「インプット 2」または「インプット 3」を選択します。

※正しい入力信号が選択されないときは、インプットメニューで正しい入力信号を選んでください。(下記参照)



インプットメニューで入力を切り換える

1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをインプットメニューのアイコンに合わせます。

2 ポイントボタン下でポインタを信号が入力された端子（「インプット 2」または「インプット 3」）に合わせ、SET ボタンで選択すると信号選択メニューが現われます。

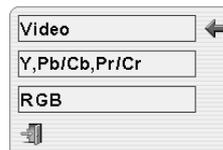
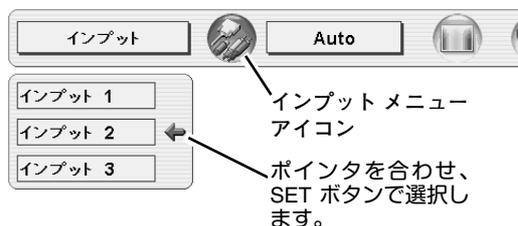
※「インプット 1」はコンピュータ入力時に使用します。

3 ポインタを希望する信号の種類に合わせ、SET ボタンで選んでください。(19ページ参照)

※後面端子 INPUT 2 の BNC 入力端子 (VIDEO/Y,Pb/Cb,Pr/Cr) に接続したコンポジット映像信号 (Video) またはコンポーネント映像信号 (Y,Pb/Cb,Pr/Cr) を選択するときは、「Video」または「Y,Pb/Cb,Pr/Cr」のいずれかを選んでください。

※後面端子 INPUT 3 の RCA 入力端子 (VIDEO/Y,Pb/Cb,Pr/Cr) または S-VIDEO端子に接続した、コンポジット映像信号 (Video)、コンポーネント映像信号 (Y,Pb/Cb,Pr/Cr) または S-VIDEO信号を選択するときは、「Video」「Y,Pb/Cb,Pr/Cr」「S-Video」の中から正しい信号形式を選んでください。

インプットメニュー



信号選択メニュー (ビデオ)

ポインタを希望する信号の種類に合わせ、SET ボタンを押します。

カラーシステムや走査方式を選択する

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポイントをシステムボックスに合わせます。
- 2 ポインタを希望するカラーシステムまたは走査方式に合わせて、SET ボタンで選んでください。

VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

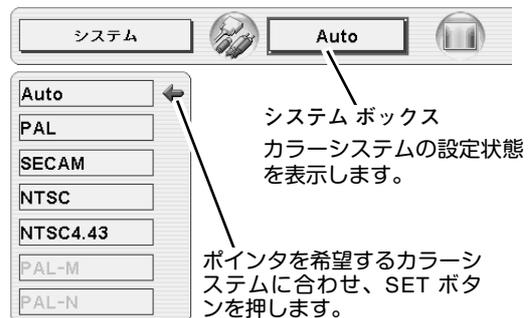
Auto (自動)

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。
※ PAL-M と PAL-N は、「Auto」に設定しても、システムは自動で選択されません。ポインタを合わせ、SET ボタンを押して選んでください。

PAL・SECAM・NTSC・NTSC4.43・PAL-M・PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムは NTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき（色ムラがある、色が出ないときなど）は、「NTSC」を選んでください。

システムメニュー
(コンジット映像またはS映像入力時)



Y, Pb/Cb, Pr/Cr 端子入力選択時

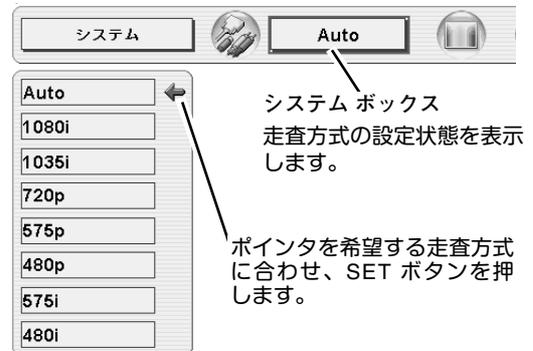
Auto (自動)

入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

コンポーネント映像の走査方式

正しい映像が再生されないときは、1080i、1035i、720p、575p、480p、575i、480i の中から正しい走査方式を選んでください。

システムメニュー (コンポーネント映像入力時)



イメージモードの選択

IMAGEボタンでイメージモードを選択する

リモコンの IMAGE ボタンを押すごとに、イメージモードが「スタンダード」「シネマ」「カスタム」と切り換わります。

スタンダード

このモードは階調や明るさのバランスがとれた標準的な設定です。
「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「カラーマネージメント」「自動画質補正」「色温度」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時の設定になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

カスタム

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
(下記参照)



イメージ選択メニューでイメージモードを選択する

- MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをイメージ選択メニューのアイコンに合わせます。
- ポイントボタン下でポインタをお好みのイメージモードに合わせ、SET ボタンで選びます。

スタンダード

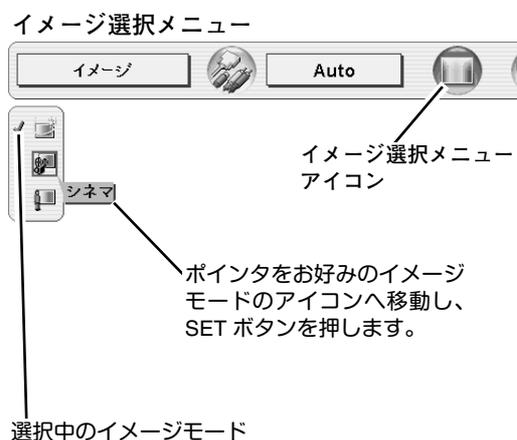
このモードは階調や明るさのバランスがとれた標準的な設定です。
「コントラスト」「明るさ」「色の濃さ」「色合い」「カラーマネージメント」「自動画質補正」「色温度」「ホワイトバランス（赤/緑/青）」「画質」「ガンマ補正」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」が、工場出荷時の設定になります。

シネマ

映画を見るのに適した階調表現を重視した画質に設定します。

カスタム

イメージ調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。
(43～45ページ参照)



画面のサイズを選択する

お好みにより、画面サイズを 2 種類の中から選択できます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをスクリーンメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、SET ボタンで選択します。

スクリーンメニュー



ポインタを選択したい機能のアイコンに合わせ、SET ボタンを押します。

ノーマル

通常の映像のアスペクト比 (横 : 縦) 4 : 3 で投写します。

ワイド

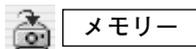
DVDプレーヤー等のワイドモードで出力された映像信号をアスペクト比 16 : 9 のワイド画面で投写します。

※ システムメニューで 1080i、1035i または 720p の信号 (アスペクト比 16 : 9) が選択されているときは、スクリーンメニューは機能しません。(40ページ参照)

マニュアルでイメージ調整を行う

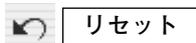
マニュアルでのイメージ調整は、コンピュータ入力、ビデオ入力、いずれでも行うことができます。

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをイメージ調整メニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを調整したい項目のアイコンに合わせ、SET ボタンで選択します。
選んだ項目の調整画面が現われます。調整は画面を見ながらポイントボタンの左右などで行います。
- 3 調整した内容を記憶します。



メモリー

ポインタをメモリーアイコンに合わせ、SET ボタンを押すと、「OK?」が現われます。
「はい」にポインタを合わせ、SET ボタンを押すと、カスタムモードとして登録されます。
「いいえ」にポインタを合わせ、SET ボタンを押すと、イメージ調整メニューに戻ります。



リセット

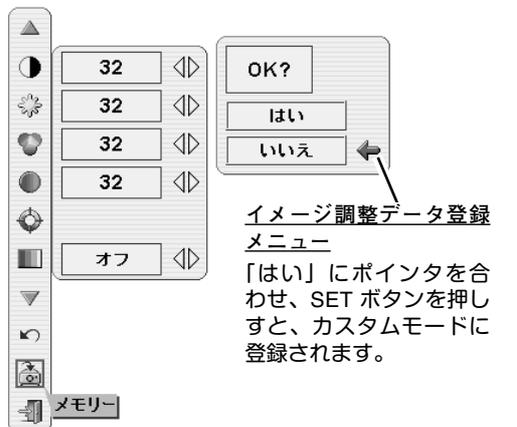
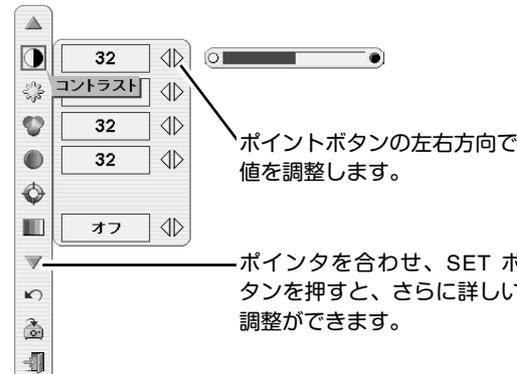
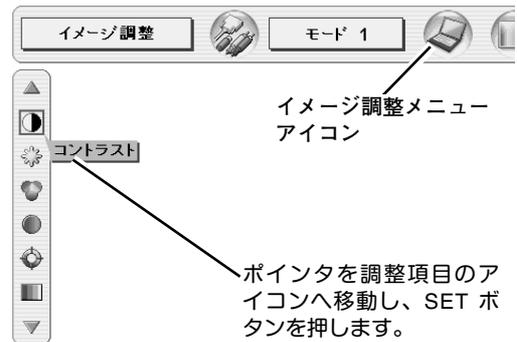
調整した内容をキャンセルし、調整前の値を表示します。



戻る

メニューを終了します。

イメージ調整メニュー



各項目の調整

コントラスト

ポイントボタン左でコントラストが薄くなり、ポイントボタン右でコントラストが濃くなります。(0 から 63 まで)

明るさ

ポイントボタン左で映像が暗くなり、ポイントボタン右で映像が明るくなります。(0 から 63 まで)

色の濃さ *

ポイントボタンの左で色が薄くなり、ポイントボタンの右で色が濃くなります。(0 から 63 まで)

色合い *

ポイントボタン左で色が紫がかり、ポイントボタン右で色が緑がかります。(0 から 63 まで)

※ カラーシステムが PAL、SECAM、PAL-M、PAL-N のときは、「色合い」の調整はできません。(40ページ参照)

カラーマネージメント

投写している画像の色を、お好みの色に調整します。

- 1 SET ボタンを押すと画像が静止して、無色のカーソルが画面中央に表示されます。
- 2 ポイントボタンの上下左右でカーソルを調整したい色の上に移動させ、SET ボタンを押すと、「COLOR SELECTION」メニューが現れます。
- 3 ポイントボタンの上下左右でカーソルを「COLOR」の中を移動させ、調整後に表示させたい色を選択し SET ボタンを押します。自動的に「GAMMA」調整に移動します。
- 4 ポイントボタンの上下で、調整後に表示させたい色を選択し SET ボタンを押します。自動的に「LIST」ボタンに移動します。

LIST 「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示されます。

CANCEL 調整を中止し無色のカーソルの表示まで戻ります。

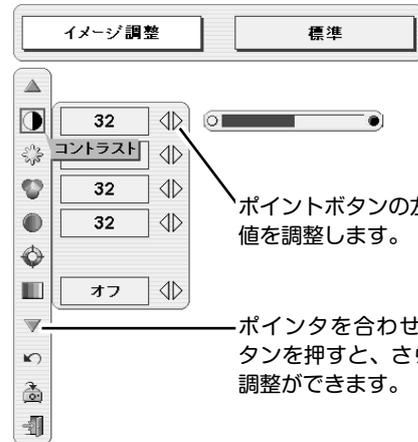
QUIT カラーマネージメントモードから抜けます。

- 5 「LIST」ボタンを押すと「COLOR MANAGEMENT LIST」が表示され、調整した色を保存することができます。

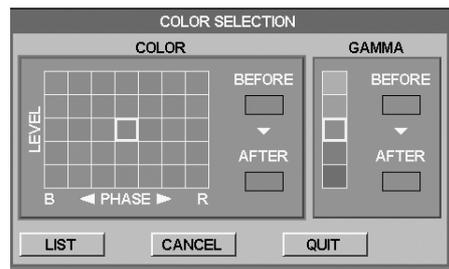
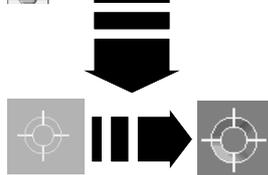
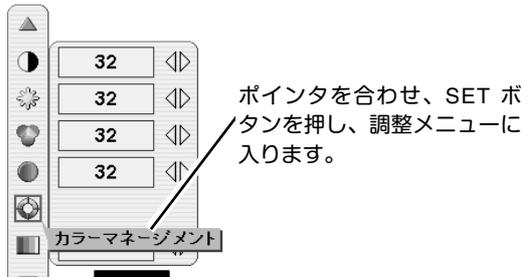
ALL DEL 保存されたすべてのリストが削除されます。

MENU COLOR MANAGEMENT から抜け、イメージ調整メニューまで戻ります。

COLOR M. 調整を保存し新たに無色のカーソルが表示され、調整を続けることができます。

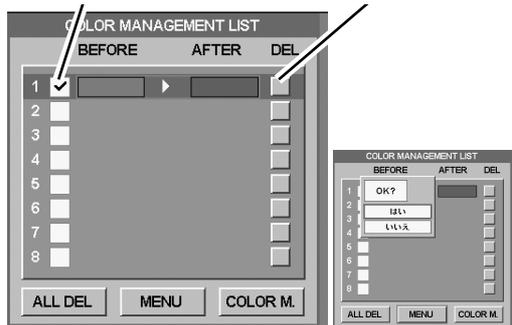


カラーマネージメント



ポイントボタン左で選択し SET ボタンを押すとチェックが外れます。

ポイントボタン右で選択し SET ボタンを押すと削除できます。



PCとビデオで合計 8 件の保存ができます。

自動画質補正

映像の暗い部分のコントラストを強調します。
 ポイントボタン右で、**オフ** → **L1** → **L2** の順でより強く強調されます。

※ 工場出荷時は **L1** に設定されています。

色温度

ポイントボタンの左右でお好みの色温度（超低－低－中－高）を選択します。

※ この設定をするとホワイトバランスの調整値も変化します。

ホワイトバランス（赤・緑・青）

ポイントボタン左で各色調は薄くなり、ポイントボタン右で各色調は濃くなります。（各色 0 から 63 まで）

※ この設定をすると色温度の表示が「調整中」になります。

画質 *

ポイントボタン左で映像がやわらかくなり、ポイントボタンの右で映像がくっきりなります。（0 から 31 まで）

ガンマ補正

ポイントボタンの左右で映像の白レベルから黒レベルまでのコントラストバランスを調整します。（0 から 15 まで）

ノイズリダクション *

オン・・・古いビデオやノイズの多い映像を見るとき「オン」にすると、ザラつき（ノイズ）が軽減されます。

オフ・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

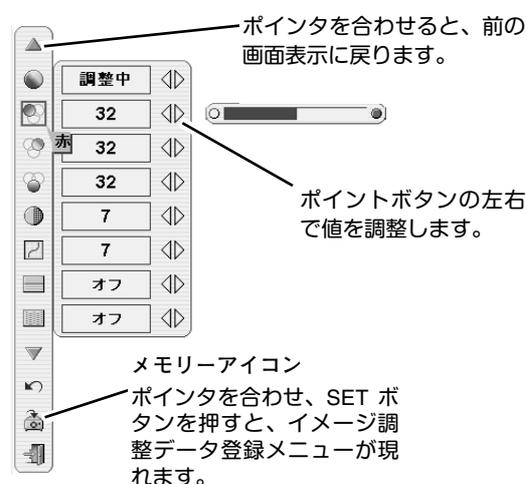
プログレッシブ *

オフ・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは、「オフ」に設定してください。

L1・・・プログレッシブ スキャンをONにします。（動画のとき）

L2・・・プログレッシブ スキャンをONにします。（静止画のとき）

※ システムメニューで 480p、575p、720p、の信号を選択しているときは、「プログレッシブ」の選択はできません。



* コンピュータ入力で、
 ・RGB（アナログ）、RGB（デジタル）、RGB（HDCP）
 の信号を選択しているとき、以下のメニューは調整できません。
 「色の濃さ」「色合い」「画質」「ノイズリダクション」「プログレッシブ」

各種セッティング

各種セッティング

- 1 MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右方向でポイントをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポイントを設定する項目のアイコンに合わせ、SET ボタンで選択します。
選んだ項目の設定画面が現われます。



言語

画面表示の言語を切り換える機能です。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、ロシア語、中国語、ハンガール語、日本語の 12 か国語の中から選べます。



ランプモード

ノーマルモード、オート、サイレントモードの選択ができます。サイレントモードは、ランプの消費電力を抑えることができます。



明るい表示・・・ノーマルモード



明るい表示に「A」・・・オート



右部がグレーの表示・・・サイレントモード

- ※ ポイントボタン右で → → の順に表示が切り換わります。
- ※ 「AUTO (オート)」は調光回路が働いて、明るさを自動的に調整します。
- ※ サイレントモードの明るさは、ノーマルモードの約 80 %です。
- ※ 工場出荷時は「ノーマルモード」に設定されています。



キーストーン

画面の台形ひずみを補正する機能です。ポイントボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。

メモリー・・・キーストーン調整で補正した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。

リセット・・・キーストーン調整で補正した内容は、電源コードを抜くとリセットされます。

※ キーストーン調整の詳細は、28 ページをご覧ください。



アスペクトV

垂直のスケールおよび位置を調整します。ポイントボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。

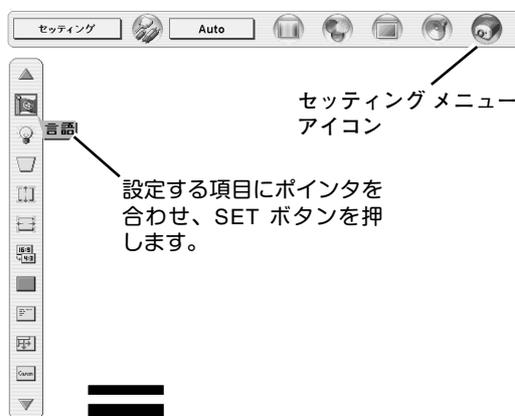
メモリー・・・調整した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。

リセット・・・調整した内容は、電源コードを抜くとリセットされます。もう一度 SET ボタンを押すと、アスペクトV 調整モードに入ります。

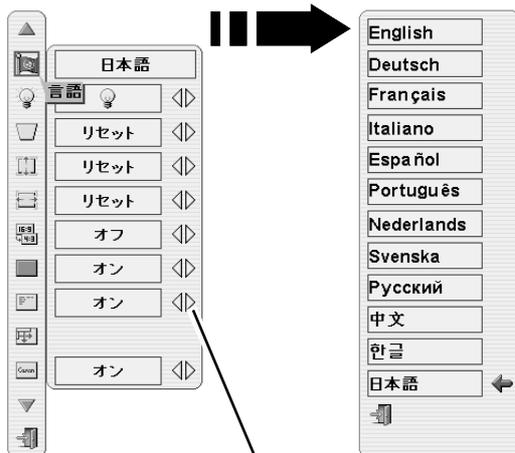
左右キーでポイントボタンを移動し、スケール、ポジションの調整したい方を選択し、上下キーで数値を調整します。

※ No signal 時は調整ができません。

セッティングメニュー



言語のアイコンを選択すると言語メニューが現われます。



アスペクトH

水平のスケールおよび位置を調整します。ポイントボタンの左右で「メモリー」または「リセット」を選択します。

メモリー・・・調整した内容は、電源コードを抜いても記憶されます。
リセット・・・調整した内容は、電源コードを抜くとリセットされます。
もう一度 SET ボタンを押すと、アスペクトH 調整モードに入ります。

左右キーでポイントボタンを移動し、スケール、ポジションの調整したい方を選択し、上下キーで数値を調整します。

※ No signal 時は調整ができません。

アナモフィック

この機能を「オン」にすると入力信号が 4:3 の画面以外でも、強制的に 4:3 の画面で投写されます。

ブルーバック

信号のないときにブルーの画面にする機能です。この機能を「オン」にすると、画像の再生前や中断時のノイズの画面を写さずにブルーの画面を写します。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択する機能です。

オン・・・すべての画面表示を出します。

オフ・・・以下の画面表示以外は出しません。

- ・メニューバー表示 (24 ページ参照)
- ・電源を切るときの「もう一度押すと電源が切れます」の表示
- ・P-TIMER表示 (30 ページ参照)
- ・自動PC調整時に「しばらくお待ちください」の表示
- ・パワーマネージメント時のタイマー表示 (48 ページ参照)

メニュー位置

メニューが表示される位置を調整する機能です。ポイントボタン右・下でお好みの位置に表示させることができます。

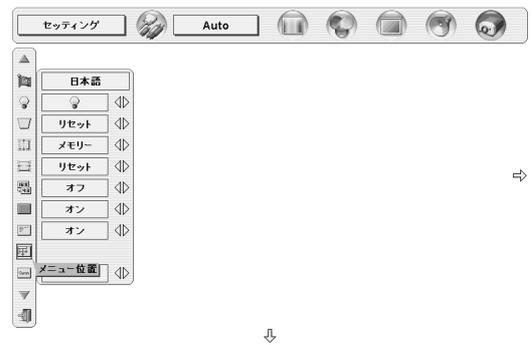
ロゴ

この機能を「オフ」にすると、電源を入れたときのロゴ表示を画面に出しません。



「スケール」、「ポジション」の選択はポイントボタンの左右で行います。

表示画面





天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して写します。天井から逆さに吊り下げて設置するときに使います。

※ 吊り下げ型の設置には、専用の天吊り金具を使います。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して写します。透過型スクリーンの後ろから投写するときに使います。



パワーマネジメント

パワーマネジメント機能の動作設定を行います。

オフ・・・パワーマネジメント機能を解除します。

待機・・・設定された時間が経つとランプが消灯しランプ冷却動作に入ります。ランプの冷却が完了すると READY インジケータが点滅を始めます。この時信号が入力されたり、プロジェクターが操作されるとランプが点灯し、画像が投写されます。

シャットダウン・・・設定された時間が経つとランプが消灯し電源が切れます。

●タイマーの設定●

ポイントボタンの左右でパワーマネジメント機能が動作を開始するまでの時間を設定します。1～30 分の範囲で設定できます。パワーマネジメント動作の詳細は26 ページを参照ください。

※ 工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。



オンスタート

電源コードを接続すると、リモコンや操作パネルの POWER ボタンを押さなくても自動的にプロジェクターの電源を入れる機能です。

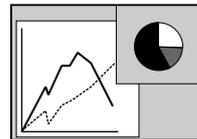
オン・・・電源コードを接続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。

オフ・・・通常の電源の入り・切りを行います。電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの POWER ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。

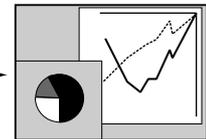
※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

天吊り機能

オフ (通常の画像)

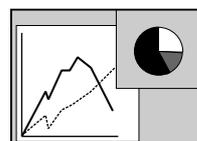


オン (天吊り設定時)

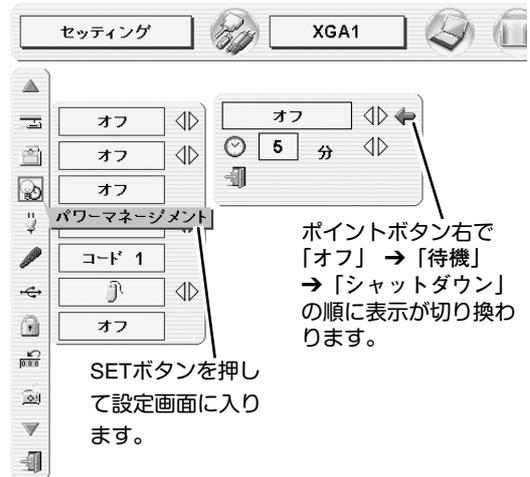
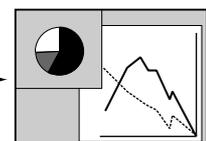


リア投映機能

オフ (通常の画像)



オン (リア投映設定時)



入力信号なし

04:50

↑
ランプ消灯までの時間

リモコンコード

本機は2種類のリモコンコード（「コード 1」、「コード 2」）の設定が可能です。2台のプロジェクターを使用するときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。

工場出荷時は「コード 1」に設定されています。

リモコンコードを「コード 2」に変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換える必要があります。

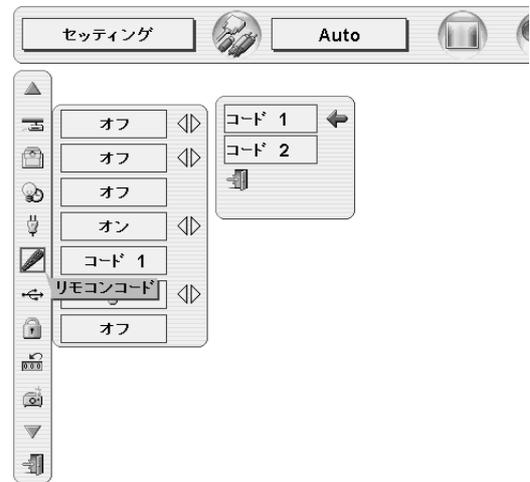
- ・プロジェクターのリモコンコードを切り換える
メニューのリモコンコードを選択し、設定するリモコンコードを選択します。
- ・リモコンのコードを切り換える
リモコンの MENU と IMAGE ボタンの両方を10秒以上押し、リモコン本体のコードが「コード 2」に切り換わります。

リモコン本体のコードを切り換えた後は、リモコンが正しく動作するか確認してください。

リモコン本体のコードを「コード 1」に戻すときは、以下のいずれかを行ってください。

- ・前述と同じ手順を行う。
- ・リモコンの ALL OFF スイッチを「ALL OFF」にする。
- ・リモコンの電池交換を行う。

※ SET・右クリック・ポイントボタンのリモコンコードは切り替わりません。



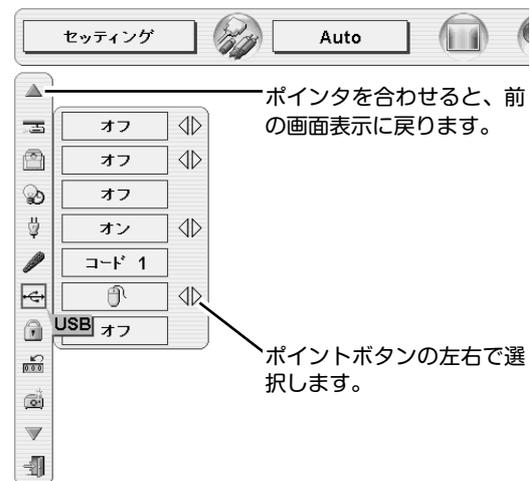
USB

本機の USB 端子とコンピュータの USB 端子に接続し、コンピュータと連結してプロジェクターを使用するときの USB 端子の機能選択を行います。ポイントボタンで機能の選択を行います。

- ・・・・本機のリモコンをコンピュータのマウスとして使用するときを選択します。
- ・・・・USB 端子をプロジェクターの制御などに使用するときを選択します。

この機能は将来のために設けられているものです。現時点ではご使用になれません。

※ 工場出荷時は「マウス」に設定されています。



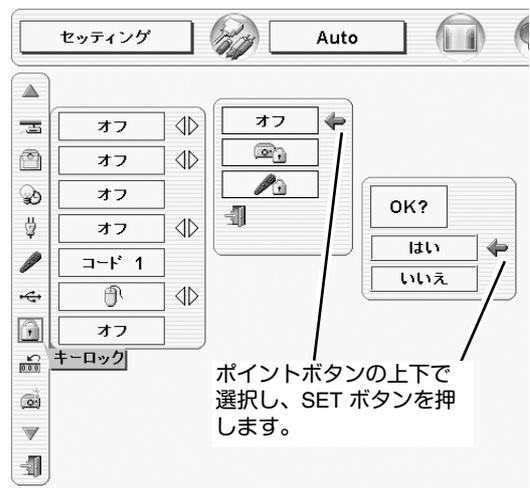
キーロック

操作ボタンのロックを行い、プロジェクターが誤って操作されることを防ぎます。

- ・・・・操作パネルからの操作をロックします。
- ・・・・リモコンの操作をロックします。
- オフ・・・キーロックを解除します。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

※ 操作パネルをロックしてしまい、手元にリモコンがないときは、一度電源コードを抜いて、「SET」ボタンを押しながら、電源コードをさすと、キーロックが解除されます。



ランプカウンターリセット

ランプカウンターをリセットするメニューです。ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ(黄)の点灯が消えます。

注意 光源ランプを交換したとき以外はリセットしないでください。

- 1 電源を入れます。MENU ボタンを押してメニューバーを出し、ポイントボタンの左右でポインタをセッティングメニューのアイコンに合わせます。
- 2 ポイントボタン下でポインタを「ランプカウンターリセット」のアイコンにポインタを合わせ、SET ボタンを押します。
- 3 「ランプカウンターリセット？」が現われますので、ポイントボタンの上下で **はい** にポインタを合わせ、SET ボタンを押します。カウンターがリセットされます。

初期設定

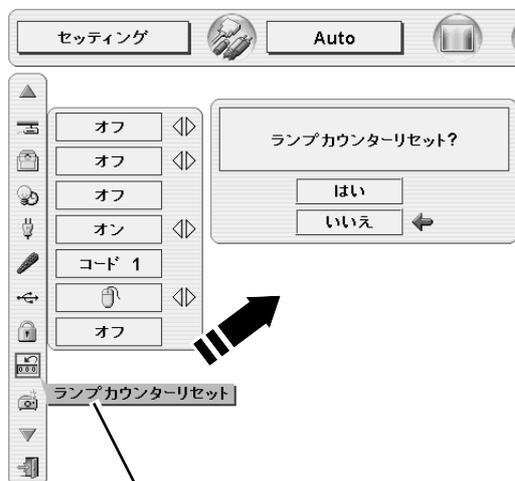
ランプカウンター（点灯時間）以外の設定を工場出荷状態に戻します。

※ この設定は電源・主電源を切っても有効です。

●ご注意●

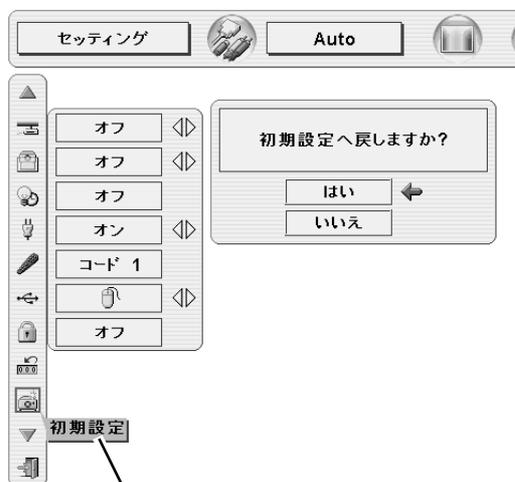
この設定が実行されると、お客さまが設定されていた内容はすべて失われ、各設定内容は工場出荷時の状態となります。

ランプカウンターリセット



「ランプカウンターリセット」のアイコンにポインタを合わせ、SET ボタンを押すと「ランプカウンターリセット？」の表示が現われます。

初期設定



「初期設定」のアイコンにポインタを合わせ、SET ボタンを押すと「初期設定へ戻しますか？」の表示が現われます。

リモコンでコンピュータを操作する

付属のリモコンはコンピュータのワイヤレスマウスとしてお使いいただけます。コンピュータマウスの代わりにリモコンでポインタを操作することができます。

準備をしてください

リモコンをワイヤレスマウスとして使用するには、マウスドライバが必要です。お使いのコンピュータにマウスドライバがインストールされていることを確認してください。

また、はじめにコンピュータの環境設定でマウスポート^{※注1}が、マウスコントロールケーブル（付属または別売）を接続するポートに設定してあることを確認してください。

- 1 付属または別売のマウスコントロールケーブルで、コンピュータのマウスポート（または USB ケーブル）と、本機の CONTROL PORT 端子（または USB 端子）を接続します。^{※注2}（18ページ参照）
- 2 マウスコントロールケーブルを接続したら、はじめにプロジェクターの電源を入れてからコンピュータの電源を立ち上げてください。先にコンピュータの電源を立ち上げると正しく動作しない場合があります。

※注1：マウスポートは、コンピュータのマウスを接続する端子です。設定のしかたは、お使いになるコンピュータの説明書を参照してください。

※注2：一部のコンピュータでマウスポートのないものは、シリアル用マウスコントロールケーブルを使ってシリアルポートに接続します。

USB端子付きのコンピュータで USBマウスをお使いの場合は、付属の USBケーブルでコンピュータと本機のUSB端子を接続します。

マウスポインタの動かし方

マウスポインタの操作は、リモコンの「ポイントボタン」「SET ボタン」「右クリックボタン」で行います。

ポイントボタン

マウスポインタの移動を行います。ポイントボタンの上下左右方向を押すと、マウスポインタが移動します。

※ オンスクリーンメニューの画面が出ている間は、ポイントボタンはメニューのポインタの移動用になります。メニューを消すと、再びコンピュータのマウス操作ができるようになります。

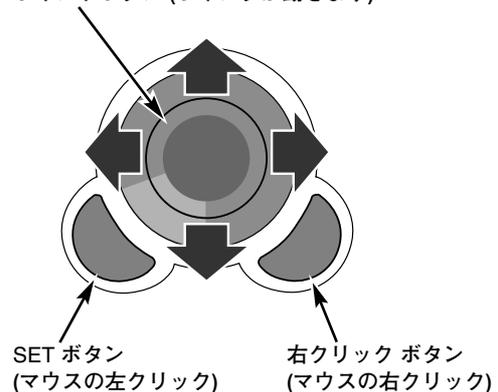
SET (左クリック) ボタン

コンピュータマウスの左クリックのはたらきをします。ドラッグするときは、SET ボタンを押したままポイントボタンで移動させます。

右クリック ボタン

コンピュータマウスの右クリックのはたらきをします。

ポイントボタン (ポインタが動きます)



光源ランプの交換

LAMP REPLACEインジケータの点灯

LAMP REPLACE インジケータ（黄）の点灯は、ランプ交換時期の目安です。LAMP REPLACE インジケータ（黄）が点灯した場合は、ランプをすみやかに交換してください。ランプカウンターをリセットするまで電源「ON」（入）のときに点灯します。なお LAMP REPLACE インジケータが点灯する前にランプの寿命が尽きる場合もあります。

光源ランプの交換のしかた

ランプを交換するときは必ず指定の交換ランプをご使用ください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注文の際には、つぎのことをお知らせください。

- ・交換ランプの品番：LV-LP17 (610 306 5977)
- ・プロジェクターの品番：LV-7555 / 7555F

注意

動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換するときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コードを抜き、45分以上冷却してから行ってください。動作停止後すぐに手で触ると、やけどをする恐れがあります。

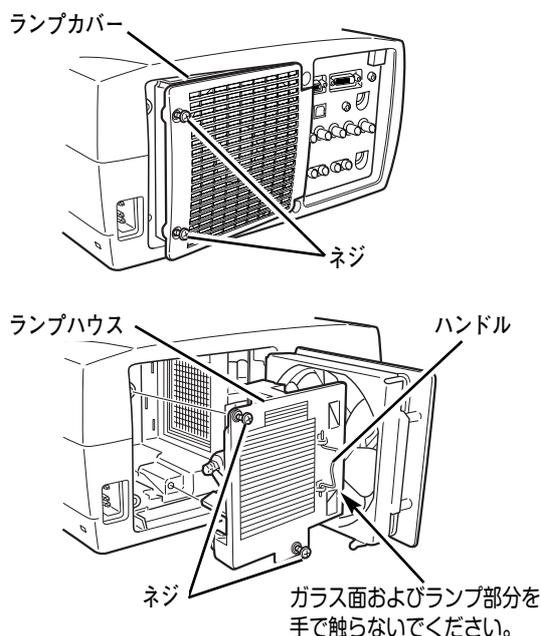
- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず45分以上冷却してください。
- 2 (+)ドライバーで2本ネジをゆるめて、ランプカバーを開けます。
- 3 ランプハウスの2本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- 4 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、2本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを閉め、ネジを締めて固定します。

- ※ ランプに衝撃を加えたり傷つけたりすると、使用中に破裂する場合がありますので、注意してお取り扱いください。
- ※ 使用済みランプの再利用はランプ破裂の原因となりますのでおやめください。

ランプカウンターをリセットします

ランプ交換後は必ずランプカウンターをリセットしてください。リセットすると LAMP REPLACE インジケータ（黄）の点灯が消えます。

「ランプカウンターのリセット」のしかたは、50ページのランプカウンターリセットの設定を参照ください。



⚠ ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水銀ランプはつぎのような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯になる場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出たら（LAMP REPLACE インジケータが点灯したら）すみやかに新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行ってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

⚠ 使用済みランプの廃棄について

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に従い行ってください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ダストカバーをかぶせて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブローブラシやレンズクリーナー（カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー）で行ってください。レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。

● エアフィルターのお手入れ ●

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターはこまめに掃除してください。（掃除のしかたは 次ページを参照）

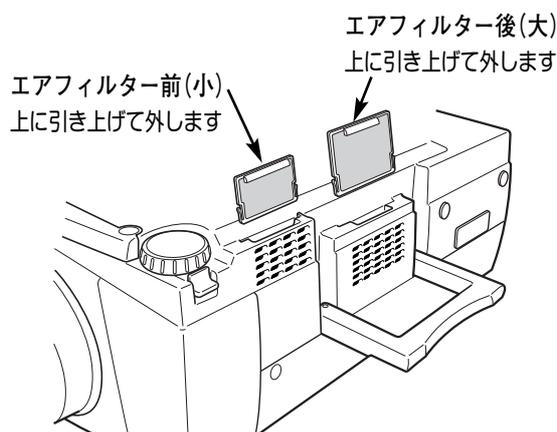
エアフィルターはこまめに掃除してください

吸気口のエアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度上昇を招いて故障の原因になります。エアフィルターは、こまめに掃除してください。

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。掃除は必ず電源を切ってから行ってください。
- 2 プロジェクターを裏返します。エアフィルターを上に取り上げ外します。
- 3 エアフィルターのホコリをブラシで取ります。
- 4 エアフィルターを取り付けます。

エアフィルターの汚れがひどいときは、水洗いの後よく乾かしてから取り付けてください。取り替え用エアフィルター（別売）は、お買い上げの販売店にご相談ください。

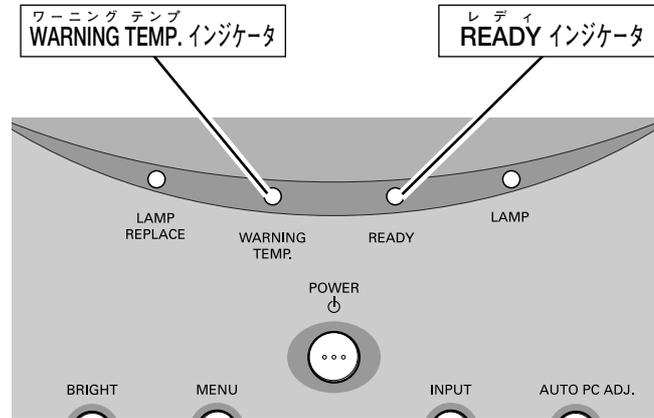
取り替え用 エアフィルター前（小） : 610 303 8780
 取り替え用 エアフィルター後（大） : 610 303 8773



●お掃除の際にご注意ください●

- ・エアフィルター部の穴から内部へ、ものを差し込まないでください。内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- ・エアフィルターを取り外した状態でプロジェクターを使用しないでください。液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。
- ・エアフィルターは、ていねいに扱ってください。穴があいたり、破れたりすると、フィルターの効果が損なわれます。

内部の温度上昇について



WARNING TEMP. インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると WARNING TEMP.インジケータ (赤) が点滅を始め内部温度が高くなっていることをお知らせします。さらに温度が高くなるとプロジェクター保護のために自動的に電源が切れ、READY インジケータが消えます。(WARNING TEMP.は点滅を続けます。) 温度が下がると READY インジケータが点灯し、リモコンおよび本体の POWER ボタンで電源を入れることができます。電源を入れるとWARNING TEMP.の点滅が消えます。WARNING TEMP.インジケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

WARNING TEMP. インジケータが点滅しているとき、ここを確認してください

- ・ 底面のエアフィルターにホコリがたまっていませんか。フィルターを掃除してください。
- ・ 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでください。
- ・ 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲：5℃～35℃)
- ・ 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

プロジェクターの電源が切れ、WARNING TEMP. と READY インジケータが点滅しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、WARNING TEMP.と READY インジケータが点滅を始めます。このとき、リモコンおよび本体の POWER ボタンでの電源入り切りはできなくなります。このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れ直し、プロジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、WARNING TEMP. と READY インジケータが点滅する場合、プロジェクターの点検を取扱販売店、またはサービス会社にご依頼ください。電源コードをコンセントに接続したまま放置しないでください。火災や事故の原因となります。

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは、下表にしたがい各インジケータでプロジェクターの動作を確認してください。また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切なメンテナンスを行ってください。

インジケータの名称と点灯状態				プロジェクターの状態
LAMP REPLACE 黄	WARNING TEMP. 赤	READY 緑	LAMP 赤	
●	●	●	●	電源コードがコンセントから抜けています。
※	●	○	○	プロジェクターはスタンバイ状態です。電源ボタンを押すと動作します。
※	●	○	●	プロジェクターは正常に動作しています。
※	○ [⚡]	●	○	プロジェクターの内部温度が高くなると、WARNING TEMP. が点滅を始めます。さらに温度が高くなると READY インジケータが消え、自動的に電源が切れ、電源が入らなくなります。プロジェクターが冷却され、正常な温度になると、READY インジケータが点灯し、電源が入れられます。(WARNING TEMP. は点滅したままです。) エアフィルターの点検などを行ってください。
※	○ [⚡]	○	○	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。電源ボタンを押すと、WARNING TEMP. の点滅は消え、プロジェクターが動作します。エアフィルターの点検などを行ってください。
※	●	●	○	ランプの冷却中です。READY インジケータが点灯するまで、電源を入れることはできません。
※	○ [⚡]	○ [⚡]	○	プロジェクターの内部に異常が検出されました。電源ボタンを入れても電源は入りません。一度電源コードをコンセントから抜き、電源を入れ直してください。再び電源が切れ、インジケータが点灯するときは、電源コードをコンセントから抜き、点検と修理をサービス会社へご依頼ください。点灯したまま放置しないでください。火災や感電の原因となります。
※	●	○ [⚡]	●	パワーマネジメントモードになっています。プロジェクターを操作すると、ランプが点灯し、プロジェクターが動作をはじめます。

○ ……点灯 ○[⚡] ……点滅 ● ……暗く点灯 ● ……消灯

※ ……LAMP REPLACE が点灯するとランプの寿命です。(正常時は消灯) すみやかにランプを新しいものと交換してください。ランプ交換後は、ランプカウンターをリセットしてください。(50ページ参照)

故障かなと思ったら

こんなときは	ここを確認してください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードは接続されていますか。 ● POWER ボタンを再度押してみてください。 ● READY インジケータ<緑>が消えているときは、POWER ボタンを押しても電源が入りません。(25、26 ページ参照) ● WARNING TEMP. インジケータ<赤>が点滅しているときは、内部の温度が過度に高くなっており、READY インジケータ<緑>が消えているときは、POWER ボタンを押しても電源が入りません。温度が下がるまでお待ち下さい。 WARNING TEMP. インジケータ<赤>及びREADY インジケータ<緑>が点滅しているときは内部の故障が考えられます。(56 ページ参照) ● 「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンのPOWER ボタンを押してみてください。(49ページ参照)
画像が写らない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器は正しく接続されていますか。接続を確認してください。(17~19 ページ参照) ● 電源を入れたあと約30秒間はオープニング画面が出て、画像は写せません。(25ページ参照) ● レンズキャップをとりましたか。 ● コンピュータモードのときはコンピュータのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。(33、40 ページ参照) ● 使用温度範囲 (5℃~35℃) からはずれていませんか。 ● NO SHOW モードになっていませんか。NO SHOW ボタンを押してみてください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。(17~19 ページ参照) ● 音量が最小になっていませんか。VOLUME + ボタンを押してみてください。 ● 消音状態になっていませんか。MUTE ボタンを押すか、VOLUME + ボタンを押してみてください。
画像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスは合っていますか。フォーカスを合わせてください。(27ページ参照) ● スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。(12ページ参照) ● スクリーンに対して過度に斜めに投写しているときは、画面に台形ひずみ(あおり)ができ、部分的にフォーカスが合わなくなることがあります。(13ページ参照) ● 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 ● レンズシフト機能で画面位置を変えたときは、多少画面が暗くなる場合があります。
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池は正しく入っていますか。+-を正しく入れてください。(15ページ参照) ● 電池がなくなっていないですか。新しい電池と交換してください。(15ページ参照) ● 電源コードは接続されていますか。接続を確認してください。(16ページ参照) ● 本体のリモコン受信部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受信部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。 ● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範囲で操作してください。(15ページ参照) ● リモコンの ALL OFF スイッチが、「ALL OFF」側になっていませんか。「ON」側にして操作してください。(20ページ参照) ● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコードを確認してください。(49ページ参照) ● 「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていませんか。操作パネルから「セッティング」を確認してください。(49ページ参照)
コンピュータのワイヤレスマウスとして動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● マウスコントロールケーブルは正しく接続されていますか。(18ページ参照) ● 接続するコンピュータにマウスドライバがインストールされていますか。ワイヤレスマウスとして使うにはコンピュータにマウスドライバがインストールされている必要があります。(51ページ参照) ● 一旦電源を切り、プロジェクターの電源を先に入れてから、コンピュータを立ち上げてみてください。

コンピュータシステムモード一覧

コンピュータの信号がアナログの場合

プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(カスタムモード 1~5 は含みません。)
接続されたコンピュータの信号を判別して、プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

システムモード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
VGA 1	640 x 480	31.47	59.88	XGA 10	1024 x 768	62.04	77.07
VGA 2	720 x 400	31.47	70.09	XGA 11	1024 x 768	61.00	75.70
VGA 3	640 x 400	31.47	70.09	XGA 12	1024 x 768	35.522	^{86.96} (インターレース)
VGA 4	640 x 480	37.86	74.38	XGA 13	1024 x 768	46.90	58.20
VGA 5	640 x 480	37.86	72.81	XGA 14	1024 x 768	47.00	58.30
VGA 6	640 x 480	37.50	75.00	XGA 15	1024 x 768	58.03	72.00
VGA 7	640 x 480	43.269	85.00	MAC 19	1024 x 768	60.24	75.08
MAC LC13	640 x 480	34.97	66.60	SXGA 1	1152 x 864	64.20	70.40
MAC 13	640 x 480	35.00	66.67	SXGA 2	1280 x 1024	62.50	58.60
480p	640 x 480	31.47	59.88	SXGA 3	1280 x 1024	63.90	60.00
575p	768 x 575	31.25	50.00	SXGA 4	1280 x 1024	63.34	59.98
575i	————	15.625	^{50.00} (インターレース)	SXGA 5	1280 x 1024	63.74	60.01
480i	————	15.734	^{60.00} (インターレース)	SXGA 6	1280 x 1024	71.69	67.19
SVGA 1	800 x 600	35.156	56.25	SXGA 7	1280 x 1024	81.13	76.107
SVGA 2	800 x 600	37.88	60.32	SXGA 8	1280 x 1024	63.98	60.02
SVGA 3	800 x 600	46.875	75.00	SXGA 9	1280 x 1024	79.976	75.025
SVGA 4	800 x 600	53.674	85.06	SXGA 10	1280 x 960	60.00	60.00
SVGA 5	800 x 600	48.08	72.19	SXGA 11	1152 x 900	61.20	65.20
SVGA 6	800 x 600	37.90	61.03	SXGA 12	1152 x 900	71.40	75.60
SVGA 7	800 x 600	34.50	55.38	SXGA 13	1280 x 1024	50.00	^{86.00} (インターレース)
SVGA 8	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 14	1280 x 1024	50.00	^{94.00} (インターレース)
SVGA 9	800 x 600	38.60	60.31	SXGA 15	1280 x 1024	63.37	60.01
SVGA 10	800 x 600	32.70	51.09	SXGA 16	1280 x 1024	76.97	72.00
SVGA 11	800 x 600	38.00	60.51	SXGA 17	1152 x 900	61.85	66.00
MAC 16	832 x 624	49.72	74.55	SXGA 18	1280 x 1024	46.43	^{86.70} (インターレース)
XGA 1	1024 x 768	48.36	60.00	SXGA 19	1280 x 1024	63.79	60.18
XGA 2	1024 x 768	68.677	84.997	SXGA 21	1400 x 1050	63.90	60.00
XGA 3	1024 x 768	60.023	75.03	MAC 21	1152 x 870	68.68	75.06
XGA 4	1024 x 768	56.476	70.07	MAC	1280 x 960	75.00	75.08
XGA 5	1024 x 768	60.31	74.92	MAC	1280 x 1024	80.00	75.08
XGA 6	1024 x 768	48.50	60.02	720p (HDTV)	————	45.00	60.00
XGA 7	1024 x 768	44.00	54.58	1035i (HDTV)	————	33.75	^{60.00} (インターレース)
XGA 8	1024 x 768	63.48	79.35	1080i (HDTV)	————	33.75	^{60.00} (インターレース)
XGA 9	1024 x 768	36.00	^{87.17} (インターレース)	1080i (HDTV)	————	28.125	^{50.00} (インターレース)

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ SXGA、Mac21、Mac、720p (HDTV)、1035i (HDTV)、1080i (HDTV) の信号を投写するときは、信号をデジタル圧縮して写しますので、線や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

※ ドットクロックが 180MHz 以上のコンピュータの信号には対応していません。

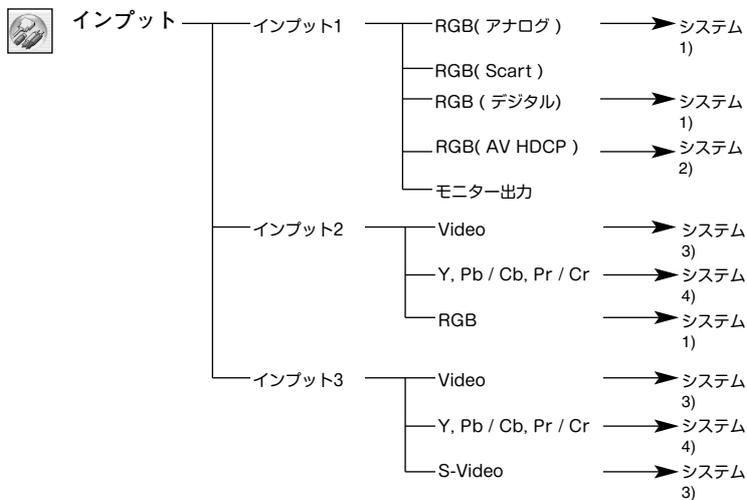
コンピュータの信号がデジタルの場合

DVI 入力端子からデジタル信号を入力する場合、以下のシステムモードに対応しています。

システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	システムモード	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)
D-VGA	640 x 480	31.47	59.94	D-SXGA1	1280 x 1024	63.98	60.02
D-480p	720 x 480	31.47	59.88	D-SXGA2	1280 x 1024	60.276	58.069
D-575p	768 x 575	31.25	50.00	D-SXGA3	1280 x 1024	31.65	29.80
D-SVGA	800 x 600	37.879	60.32	D-720p	1280 x 720	45.00	60.00
D-XGA	1024 x 768	43.363	60.00	D-1035i	1920 x 1035	33.75	^{60.00} (インターレース)

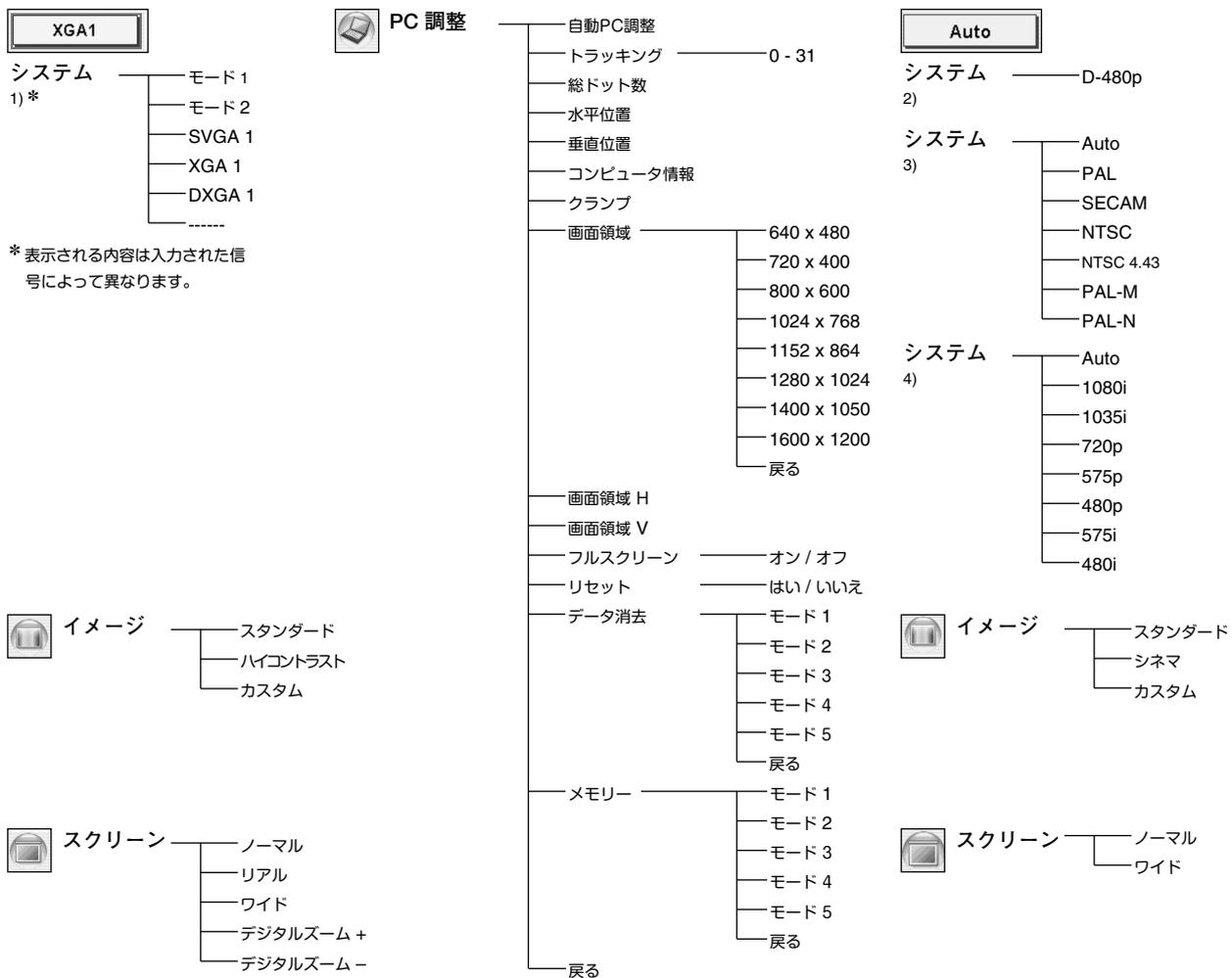
※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

メニュー内容一覧



コンピュータ入力

ビデオ入力





セッティング

- 言語
 - 英語
 - ドイツ語
 - フランス語
 - イタリア語
 - スペイン語
 - ポルトガル語
 - オランダ語
 - スウェーデン語
 - ロシア語
 - 中国語
 - ハングル語
 - 日本語
 - 戻る
- ランプモード ——— ノーマル/オート/サイレント
- キーストーン ——— メモリー/リセット
- アスペクト V ——— メモリー/リセット
 - スケール
 - ポジション
- アスペクト H ——— メモリー/リセット
 - スケール
 - ポジション
- アナモフィック ——— オン / オフ
- ブルーバック ——— オン / オフ
- オンスクリーン表示 ——— オン / オフ
- メニュー位置
- ロゴ ——— オン / オフ
- 天吊り ——— オン / オフ
- リア投写 ——— オン / オフ
- パワーマネージメント ——— オフ / 待機 / シャットダウン
- オンスタート ——— オン / オフ
- リモコンコード
 - コード 1
 - コード 2
 - 戻る
- USB
 - マウス
 - プロジェクター
- キーロック
 - オフ
 - 操作パネル
 - リモコン
- ランプカウンターリセット ——— はい / いいえ
- 初期設定 ——— はい / いいえ

イメージ調整

- コントラスト ——— 0 - 63
- 明るさ ——— 0 - 63
- 色の濃さ ——— 0 - 63
- 色合い ——— 0 - 63
- カラーマネージメント
- 自動画質補正 ——— オフ / L1 / L2
- 色温度 ——— 超低 / 低 / 中 / 高
- 赤 ——— 0 - 63
- 緑 ——— 0 - 63
- 青 ——— 0 - 63
- 画質 ——— 0 - 31
- ガンマ補正 ——— 0 - 15
- ノイズリダクション ——— オン / オフ
- プログレッシブ ——— オフ / L1 / L2
- リセット ——— はい / いいえ
- メモリー
 - イメージ 1
 - イメージ 2
 - イメージ 3
 - イメージ 4
 - 戻る
- 戻る

サウンド

- 音量 ——— 0 - 63
- スピーカ ——— オン / オフ
- 消音 ——— オン / オフ
- 戻る

**メニュー内の調整値は、実際と異なる場合があります。

仕 様

プロジェクター本体

型 名	LV-7555 / LV-7555F
方 式	三原色液晶シャッター方式
光学方式	ダイクロイックミラー分離・プリズム合成方式
液晶パネル	サイズ：1.3型 × 3、アスペクト比 4 : 3 駆動方式：ポリシリコンTFTアクティブマトリクス方式 画素数：786,432画素 (1,024 × 768) × 3枚、総画素数 2,359,296 画素 配列：ストライプ
投写レンズ	1.3倍電動ズームレンズ F=1.7 ~ 2.0 f=48.2 ~ 62.6mm (LV-7555)
光 源	300W NSHランプ
画面サイズ (投写距離)	最小 31 ~ 最大 400 型 (1.4m~14.7m)
色再現性	フルカラー (1,677 万色)
明 る さ	4600 ANSIルーメン (Bright On) 4000 ANSIルーメン (Bright Off)
周辺光量比	90 %
コントラスト比	900 : 1 (全白 / 全黒)
入出力 コンピュータ	DVI入力 (1系統) : DVI-D コネクター (24ピン) デジタル : TMDS (Transition Minimized Differential Signaling) アナログRGB入出力 (入力2系統・出力1系統) : ミニD-sub 15ピン、BNC x 5ピン アナログRGB信号 : 0.7Vp-p、正極性、インピーダンス75Ω 水平・垂直同期 : TTLレベル、負または正極性 (G信号中のコンポジット同期 : 0.3Vp-p、負極性、インピーダンス75Ω)
ビ デ オ	ビデオ入力 (2系統) 映像/Y : BNC コネクター、ピンジャック、1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω Pb : BNC コネクター、ピンジャック、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω Pr : BNC コネクター、ピンジャック、0.7Vp-p、インピーダンス75Ω S映像 : セパレートYC信号、ミニDIN 4ピン Y : 1Vp-p、同期負、インピーダンス75Ω C : 0.286Vp-p (バースト信号)、インピーダンス75Ω
音 声	音声入力 (2系統) : ミニジャック (ステレオ)、142mVrms、インピーダンス47KΩ以上 音声入力 : ピンジャック、142mVrms、インピーダンス47KΩ以上 (左モノ : 右) 音声モニター出力 (コンピュータ / ビデオ兼用) : ミニジャック (ステレオ)、可変出力、 インピーダンス1KΩ以下
制御入出力、他	コントロールポート : ミニDIN 8ピン USB端子 : USBコネクター、シリーズ B、シングルポート ワイヤード リモコン端子 : ミニジャック Network Imager コネクター
走査周波数	水平 15~100KHz、垂直 50~100Hz
カラーシステム	6システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
音声実用最大出力	ステレオ 2W + 2W (JEITA)
スピーカ	5 x 5 cm 円形 2個
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	450W (待機中消費電力 15W)
本体寸法	幅319×高さ168×奥行465.2 mm
質 量	9.3Kg (LV-7555) / 8.0 Kg (LV-7555F)

※ HDCPとは、High-bandwidth Contents Protectionの略称で、DVIを経由して送られるデジタル映像の不正コピーを防止することを目的とした著作権保護用システムのことです。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。本機のDVI-D入力端子は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされたデジタル映像を再生、投写することができます。HDCPの規格変更等が行われた場合、これらHDCP技術でコピープロテクトされたデジタル映像のDVI-D端子での再生はできなくなる場合があります。

※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99%以上です。投写中 0.01%以下の点灯したままの点や、消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障ではありません。

リモコン

電 源	DC3.0V 単3型アルカリ乾電池 2本使用
到達距離	約5m (受信部正面)
本体寸法	幅55×高さ34×奥行192 mm
質 量	165g (乾電池を含む)
レーザーポインタレーザー出力 (IEC60825-1, Am.1 1997)	クラス2 レーザ製品 最大出力：1 mW 波 長：650±20 nm

付属品

- リモコン 1個
- リモコン用 アルカリ乾電池 (単3型) 2本
- リモコン接続コード 1本
- 電源コード 1本
- コンピュータ接続ケーブル (DOS / V 用) 1本
- USB ケーブル 1本
- マウス コントロール ケーブル 1本 (シリアル用)
- 使用説明書
- レンズ交換・取り付け作業手順書
- 保証書
- レンズヤップ 1個 (LV-7555のみ)
- ダストカバー 1枚
- レンズ取付金具 (LV-7555Fのみ)

別売品

- DVI用コンピュータ接続ケーブル (2m) 品番：LV-CA29
- 短焦点固定レンズ 品番：LV-IL01
- 短焦点ズームレンズ 品番：LV-IL02
- 長焦点ズームレンズ 品番：LV-IL03
- 超長焦点ズームレンズ 品番：LV-IL04
- Network Imager 品番：LV-NI01

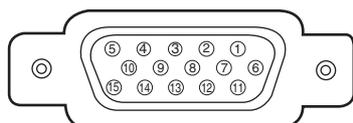
※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外国ではお使いいただけません。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

端子の仕様

ANALOG IN / OUT (コンピュータ DOS/V 入力端子 / モニター出力端子)

コンピュータからのアナログ (RGB) 入力の端子として、またモニター出力端子としてはたります。接続には、DOS/V用コンピュータ接続ケーブル (付属) をご使用ください。

ミニ D-sub 15ピン

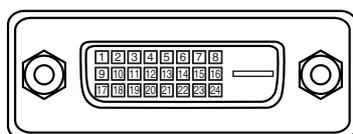


1	R	9	+5V パワー
2	G	10	接地 (垂直同期)
3	B	11	モニター ID0
4	モニター ID2	12	DDC データ
5	接地 (水平同期)	13	水平同期
6	接地 (R)	14	垂直同期
7	接地 (G)	15	DDC クロック
8	接地 (B)		

DIGITAL (DVI-D) (コンピュータ DVI-D 入力端子)

コンピュータからのデジタル (TMDS) 出力を接続する端子です。接続には、DVI用コンピュータ接続ケーブル (別売) または、付属のDOS/V用コンピュータ接続ケーブルに付属のDVI/D-Sub変換アダプタを接続し、ご使用ください。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

DVI-D 24ピン

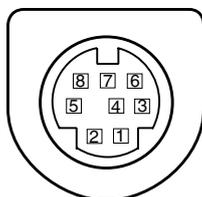


1	T.M.D.S. データ 2-	9	T.M.D.S. データ 1-	17	T.M.D.S. データ 0-
2	T.M.D.S. データ 2+	10	T.M.D.S. データ 1+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2シールド	11	T.M.D.S. データ 1シールド	19	T.M.D.S. データ 0シールド
4	未接続	12	未接続	20	未接続
5	未接続	13	未接続	21	未接続
6	DDC クロック	14	+5V パワー	22	T.M.D.S. クロックシールド
7	DDC データ	15	接地 (+5V)	23	T.M.D.S. クロック+
8	未接続	16	ホットプラグ検知	24	T.M.D.S. クロック-

CONTROL PORT (コントロールポート端子)

接続したコンピュータのマウス操作を本機のリモコンで行うときに接続する端子です。この端子とコンピュータのマウスポート (PS/2ポート、シリアルポート、または マウスポート) を付属または別売のマウスコントロールケーブルで接続します。

ミニ DIN 8ピン

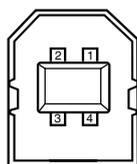


	マウスコントロールケーブルの種類		
	PS/2 (別売)	シリアル (付属)	Mac (別売)
1	----	R X D	----
2	CLK	----	ADB
3	DATA	----	----
4	GND	GND	GND
5	----	RTS / CTS	----
6	----	T X D	----
7	GND	GND	----
8	----	GND	GND

USB (ユニバーサルシリアルバス端子)

USB規格対応の端子を持つコンピュータ機器との接続に使用する端子です。また、マウスコントロールポート端子としても使用します。

USB コネクター (シリーズB)



1	VCC
2	- DATA
3	+ DATA
4	GND

レンズ交換について

本機はオプションレンズを使用することにより、レンズを交換して使用することができます。
レンズの取り付け・交換は、安全のため専門の販売技術員、または、サービス技術員にご相談ください。お客様自身での取り付け交換はしないでください。

●販売技術員・サービス技術員の方へ●

レンズの取り付け・交換は別冊のレンズ交換手順書にしたがい行ってください。レンズの取り付け・交換の前にレンズの品番を確認の上、正しいレンズをご使用ください。



注 意

レンズ取り付け後、プロジェクターを設置するとき、レンズには必ずレンズキャップをしてください。また、プロジェクター本体を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部は絶対持たないでください。プロジェクターを破損する原因になります。

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。消耗品類（光源ランプ、エアフィルター）は、保証の対象とはなりません。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または下記弊社お客様相談センターにご相談ください。

■修理を依頼される前に

58ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときに ご連絡いただきたいこと

- お客さまのお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番、機番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

【修理方法】

本商品は、引取修理させていただきます。

お客様先に商品を引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご希望により代替機の貸出サービスを準備しております。

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取修理サービスおよび代替機の貸出しは、下記弊社お客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。

また、代替機については、在庫状況によりご希望にそえない場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

●長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ！ (熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。)

<p>このような 症状は ありませんか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が時々消えることがある。 ●変なおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。 ●その他異常や故障がある。 		<p>ご使用 中止</p> <p>故障や事故防止のため、 スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。</p>
---------------------------------	---	---	---

お客さまメモ	
品番	LV-7555/7555F
お買い上げ年月日	年 月 日
お買い上げ店名	☎

Canon

お客様相談センター (全国共通番号)



0570 - 01 - 9000 (商品該当番号：84)

※全国64箇所にある最寄りのアクセスポイントまでの電話料金でご利用になれます。

お電話が繋がりましたら音声ガイダンスに従って、商品該当番号〈84番〉または〈プロジェクタ〉とお話してください。
【受付時間】〈平日〉9:00～12:00、13:00～17:00〈土日祝日、年末年始及び弊社休業日は休ませていただきます〉

※PHSまたは海外からご利用の方、ナビダイヤルをご利用いただけない方は043-211-9348をご利用下さい。

※音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめ御了承ください。